夕刊
滿洲日報
七月十四日

頻發する排日暴行に對し我官憲愈よ膝詰談判
文書交渉の効なきに鑑みて　清野領事乘り出す

【奉天特電十四日發】清野領事は十三日午後王鏡寰交渉署長と會見約一時間に亘り北陵鐵道問題、公太堡問題及び排日問題など最近の日支諸問題につき交渉する所があつたが聞けば從來の文書を以ての交渉ではこれを幾度繰り返へすもその効なきにより方針を變へ膝共談合的に解決を圖るはずであると

勞農側平等主義を主張　奉露協定の改訂を提議
各方面に大影響ありとして　露國の態度注目さる

【ハルビン特電十三日發】勞農各機關の閉鎖及び共產黨員の追放にひき續き東支管理局の回收によつて北滿における勞農の勢力は殆ど全滅に近いまでに驅逐されたが之に對して勞農側が如何なる態度に出るかは各方面に重大なる影響を及ぼすので頗る注目されてゐる、目下傳へられるところによれば勞農側では今回の事件を支那側と正式交渉の上平和的手段をもつて解決したい意志から元の東支鐵道副理事長で東支は素より北滿の各種事情に明るいセレブリヤコフ氏を全權として既に當地へ向け出發せしめたと支那側に通告して來たといはれてゐる、而してかくの如く露國側が穩健な態度をとりセ氏を派遣し外交的に問題を解決するの外止むなきに至つたのは露國現下の國情が實力ある抗議を發し得ない事情にあるためであること勿論で例によりて所謂賢明なる忍從策をとつたものと見られ又セ氏が本國政府から今回の事件解決の方針として授けられた方策については東支鐵道問題に關する限りにおいては支那側が今回とつた處置を承認する代りとして飽くまで相互平等主義を主張しそのためには更に奉露協定の改訂を提議するに至るだらうと推測されてゐる

追放された赤露人　合計六十一名に及ぶ

【ハルビン特電十三日發】支那側の當地共產黨員に對するクーデタによつて國外放逐を命ぜられたものは十二日出發したエムシヤノフ、エイスモンドを合せて哈爾賓から三十五名沿線から二十六名合計六十一名でその氏名は次の通りである

ウイリドグルベ、ゼムスキー、シオクスン、ルーチエンコ、メニコフスキー、スポータ、ワホフスキー、ヤーギン、サドウオイ、オトロセンコ、グレンコフ、パンコフ、ボンスマレンコ、ラゴーデン、エムシヤノフ、エイスモンド、ゴルチヤコフスキー、マルコフ、チエチユーラ、ムルデン、ロマノフ、セリヨノフ、スカルキン、ハリトノフ、ボノマレンコ、クニヤーゼフ、キリヨエフ、イワナセンコ、モナステレツキー、オシアーニン、バイガチエフ、プーシチン、プラニチニコフ、メランウイリ、コイ、ボドレースルイ、モルチアノフ、ウオルコフ、モスチウイチ、ウナーエフ、エフレメノフ、ベズルーク、ボロートフ、パランチユーク、サハーロフ、ユリアーグ、ヤシンスキー、サテイガー、マンツエロ、クチユーンコ、ボイコフ、フエラポントフ、ピメーノフ、カラウリヌイ、プチアツキー、スヌゲリン、ボツドレスタイ、クドリアーセフ、アルヒポフ、フレンケリ、ポポフ

從業員組合も閉鎖さる

【哈爾賓】東支鐵道機關庫所屬の從業員組合は今回の事件に刺戟され秘密會議を開き組合としてとるべき態度につき協議を行つたことが支那側に探知され不穩行爲に出でたものとして支那官憲のため閉鎖を命ぜられた

在滿の邦人へ
(三)　大谷光瑞氏談

されば在滿邦人としては常に、これに對する警戒を怠らず、已が身邊危ふしと豫知する場合は何時たりとも引揚、事前に已が生命、財產の保護をなし得る樣自衞手段を講じて置く必要あるは言を俟たない。

その用意、その覺悟さへあれば、假令政府の保護の手が及ばずとも、或程度までは、不時の災禍を免れ得るであらう。

◇

何れにしても新内閣の聲明書なるものには、肝腎の滿蒙問題に就いて何等具體的の方針を示して居らず、それと肯かれる問題に言及して居るのは、僅に「我國の生存又は繁榮に缺く可からざる正當且緊切なる權益を保持するは政府當然の職責に屬す」と聲明して居る點のみである。

而もこれは、其の字句として見るときは甚だ不完全なもので滿蒙問題に對する聲明としては餘りに曖昧至極なものと謂はざるを得ない。

◇

一體「我國の生存又は繁榮に缺くべからざる正當且緊切なる權益」とは何を指すか。全文の意味を通讀して見るにそれが國防問題の見地より論じて居るとは思はれない。これは恐らく經濟問題を主として、其の一斷を加へて居るとしか思へないが、それにしては一たい現在の滿蒙が如何なる點において「我國の生存又は繁榮に缺くべからざる」ものであるか、その點が何らも判然しない。

將來綿を多量に生產するとか又は硫安を製造するとか、其他種々の科學的產物、或は日本内地において必須缺くべからざる農產物が豐富に輸送されるやうになればいざ知らず、今日の處で主なる必要品と云へば「豆粕」ぐらゐなものでこれがなければ日本の生存が危ふくなるとか、又は繁榮に差し障りがあるとか云ふ程度のものは、他に殆どないと云つてよい。

◇

その點から云へば、棉花その他の必要品を供給する米國や、印度や、或は南洋その他などの方が却て日本の生存又は繁榮に缺くべからざる關係があるとも云へる。

然し權益云々の點は決してこれ等の地を指すのではなく、正しく滿蒙を指したものと思はれるが、國防上の問題、或は將來に關する問題からなればイザ知らず、あれだけの聲明では物足らぬこと夥しい。

◇

殊に注意すべきはその直前に「進んでその國民的宿望の達成は友邦的協力を與ふる云々」と言つてある點で、これが聯絡如何に依りては「旅大及び滿鐵の回收は支那の國民的宿望だ」と云ふので、各種の回收運動の盛なこの際、却て其の氣勢を扶ける事にならう。

試みにこれを權益保持云々の聲明と對比して見れば甚だ可笑しな話で、その矛盾も甚だしいと云はなければならない。

◇

斯の如き聲明の矛盾はまだいゝとしても、この結果が勢ひ在滿邦人に、不測の禍を與へることになるとすれば、これは諭に我慢の出來ない話である。これ私が政府に對して、在滿二十餘萬の同胞舉つて質問を發し、以てその言質を得て置くべしと提議する所以であるが、その質問の方法は、僞に在滿邦人全部の叫びを報らせるため、殊更商工會議所などの團體に依らず、邦人全部が個々に署名捺印して政府に提出するがよい。

◇

またその形式は成るべく詰問的でなく、寧ろ請願の方法を執るのがよい。

これに對して政府から、必ず何等かの指令がある樣にする事は必要で、政府でも在滿邦人全部の請願である以上、必ずこれを放任することはあるまい。

知らず、此の際舉つて政府の眞意を確め、豫め不測の禍に備ふるの意思はないか何うか。

私はこれを警告し且つ在滿同胞諸君の自省を促して已まぬ。(終り)

白系露人狂喜す　東鐵管理局に押掛けて多數復職を請願

【ハルビン十三日發】當地共產黨に對する支那側今回の手入れに對し白系露國人は大に氣勢をあげ黨員の放逐出發に際しては多數の白系露人が態々驛頭に集り罵聲や冷笑を浴びせかけるといふ騷ぎ方であつたが、更に管理局が白系露人を雇傭するといふのでます〳〵得意となつてゐる、又さきに一月以降エムシヤノフ前管理局長に馘首された連中も事件以來管理局に押かけ復職を請願してゐるが多分その一部は採用される模樣で今や當地白系露人は復活の喜びに欣喜雀躍の有樣である

交渉準備のため　支那側代表哈市へ潛行

【奉天特電十四日發】東支鐵道問題に關し近くセレブリヤコフ、王正廷の露支代表會議が哈爾賓又は東京において開催さるべく豫想されてゐるが南京政府外交部の周龍光、朱紹陽二課長の一行は早くも十三日夜奉天經由哈爾賓に向つた、右はセ氏の着哈は早くて來る十七日頃である から豫て北平において蔣介石、張學良、王正廷の三氏協議の方針に基き萬全の策を講ずべく潛行せるものと見做さる

一般經濟界には影響はなかつた　一部支那人は大打擊

【ハルビン特電十四日發】當地一般經濟界は今回の事件により初めダリバンクの支那側回收並にそれに關聯して同行の取付說が傳へられたので多少憂慮されてゐたが程なく眞相が判明したので何等の影響も蒙るに至らなかつた、たゞ事件勃發の初め一兩日は前途氣構へから輸出入とも商談を差し控へた向があつた程度で、圓價の好轉による哈大洋票の下落で支那商人のうちには倒產者を出した模樣で輸入品特に綿糸布の取引が澁滯を來した

勞農機關　復活を運動

【ハルビン特電十三日發】國營汽船極東貿易及び石油シンヂケートなどの當地における勞農各機關が閉鎖されたゝめ露國の北滿における商業政策に一大頓挫を來したので目下勞農側では何んとか形式を變へてゞもこれ等機關の復活を計り營業を繼續せんと目下極力運動中であると

三線連絡で　多年の宿望達成
奉天で開催中の會議に就て　吉海鐵路局要人語る

【吉林特電十三日發】目下奉天に於て開催中の吉海、瀋海、北寧三線聯絡會議に關し吉海路工程局要人某は概要次の如く語つた

奉天と吉林の交通は殆ど滿鐵の操縱する所で吉長、四洮線も亦日本との借款關係から事毎に掣肘を受けねばならぬ故に東北當局は交通は國家命脈たるの見地から決して忽視する能はざることを體得した結果として今後に於ける東北各省鐵道敷設は全然自欵自築の方針であるが現に黑江省の運輸は完全に滿鐵線を避けて齊昂、昂洮、打通各線を經由して北寧線に達する吉林省も亦最早吉長、南滿線を待まずして吉海、瀋海を經て北寧線に輸出することが出來る樣になり漸く多年の宿望が達成せられた譯であるが、之に反して滿鐵乃至大連港は

莫大の影響を被ること

は蓋し自然の勢ひである、奉吉築路の初めに當り日本側は毅然反對の態度に出でたが我方も直に自欵自地即ち自から修築の理由を以て最後迄之に拮抗し遂に勝利を獲得し鐵路は既に竣成し既に各線の聯運を實行する迄に到達した瀋海鐵道は既に北寧線と聯運を實行してゐるが今吉海線も既に竣成し全線の通車營業を開始して二箇月に達し目下一切の設備も漸次其緒に就き唯瀋海線との連絡を殘すのみであるが奉吉を一氣に聯運することは奉吉兩省當局は勿論吉海路の

本旨で

あることは言ふ迄もない、而して北寧線は我東北四省物產輸出の樞紐にして又瀋接の關係を有し吉海線と瀋海北寧三線聯運事務は必要缺く可らざる處であつて曩に該三線當局は豫め打合せの上で本月初旬正式に三線聯運會議を奉天瀋海鐵路局内に於て開催することゝなつたのであるが、其協定事項の主要なるものは(一)貨物の運賃(二)通車時間(三)聯運手續き等にして務めて廉速を期し以て根本的に滿鐵線を抵制する

計畫の

下に進行しつゝあるのである、而して吉海鐵路局より此の聯運會議に列席した者は車務處長張鳴盛、運轉課長牟松山、營業課長王家襄で其の一切の聯運事宜は先づ各代表會議に於て議決の上更に夫々本局に報告し核准を經て實施せらるゝのである、北寧線は東北に於ける最も重要地位を占め目下東北各省に於て計畫中の各鐵道網が順次實現の曉きは葫蘆島の商港開闢が最も急務である

陸軍の異動　今月末ごろ發表

【東京十四日發電】今月末又は來月始め發表さるべき陸軍定期異動は大體内定を見たが其の主なるものは左の如く見られてゐる

進級

歩兵第十二聯隊長　歩兵大佐　長谷川國太郎
歩兵第七十五聯隊長　同　久我正二郎
教育總監部第一課長　同　西尾壽造
第四師團參謀長　同　灘谷伊之彥
歩兵第二十九聯隊長　同　上野西郎
歩兵第四十五聯隊長　同　末松俊造
陸軍省恩賞課長　同　中村潤作
歩兵第十一聯隊長　同　山本芳輔
第十師團參謀長　同　武藤一彥
教育總監部第二課長　騎兵大佐　角田政之助
旭川聯隊區司令官　歩兵大佐　山田政一
陸軍大學教官　同　鈴木率通
歩兵第六十八聯隊長　同　石坂弘毅
陸軍省補任課長　同　沖直道
歩兵第二十八聯隊長　同　前川米太郎
參謀本部附　同　佐藤三郎
第十九師團參謀長　同　大家德一郎
歩兵第十六聯隊長　同　中屋良雄
參謀本部課長　同　兒玉友雄
歩兵第十九聯隊長　同　蘆川良治
第八師團參謀長　同　篠原四郎
豐橋教導學校長　同　武田秀一
歩兵第四聯隊長　同　高城莊吉
第六師團參謀長　同　黑田周一
臺灣歩兵第二聯隊長　同　二宮久二
陸地測量部三角科長　工兵大佐　寄柳和夫
航空本部第一課長　航空兵大佐　堀丈夫
野戰砲兵第四聯隊長　砲兵大佐　小野茂行
東京工廠長　同　小柳津正藏
兵器本廠附　同　松村乙二
築城部對馬支部長　工兵大佐　渡邊辰
陸軍技術本部々員　同　加藤鐵二
陸軍省軍砲課長　砲兵大佐　植村東彥
工兵第三大隊長　工兵大佐　中村良雄
工兵學校教育部長　同　上村友兄
工兵第二十大隊長　同　川野傳一
鐵道第一聯隊長　同　梅戸緯
輜重兵第一大隊長　輜重兵大佐　朝倉章
輜重兵第十六大隊長　同　牛田國五郎
歩兵第三十四聯隊長　歩兵大佐　竹下範國
歩兵第四十八聯隊長　同　古賀徹治
歩兵第四十七聯隊長　同　新山福治
歩兵第七十七聯隊長　同　野田三藏
朝鮮軍司令部附　同　西四辻公堯
歩兵第二十五聯隊長　同　柳井貴一

任陸軍少將(各通)

第十二師團軍醫部長　一等軍醫正　田島滿十郎
陸軍省醫事課長　[illegible]
廣島衛戍病院長　同　弘岡道明
同　國友國

任陸軍々醫監(各通)

近衛歩兵第二旅團長　陸軍少將　篠田次助
所澤飛行學校長　同　古谷淸
陸地測量部長　同　大村齊
砲工學校工兵科長　同　松井順
朝鮮軍參謀長　同　寺内壽一
憲兵司令官　同　峰幸松
兵器本廠附　同　井染祿朗
獨立守備隊司令官　同　水町竹三
陸軍大學校監事　同　多門二郎
野戰重砲兵第四旅團長　同　石川漣平
騎兵第四旅團長　同　服部眞彥
騎兵監　同　森壽
獨逸大使館附武官　同　大村有隣
近衛師團司令部附　同　淺田良逸
士官學校監事　同　厚東篤太郎

任陸軍中將(各通)

臺灣軍司令官　陸軍中將　菱刈隆
東京警備司令官　同　岸本鹿太郎
第三師團長　同　安滿欽一

任陸軍大將(各通)

滿洲事件は發表せぬ　政府の意嚮

【東京十四日發電】政府は滿洲事件の内容を發表しない意嚮であるが右は民政黨が在野時代前内閣を攻擊した關係上警備上の手落位でアツサリ片附ける譯にも行かず、さりとて眞相の發表も國家の威信上出來ぬから外部より迫られた時は前内閣が責任を負ふて辭した後だから今更發表はせぬと辯明する筈である

修養團夏季講習

關東廳學務課、修養團滿洲聯合會主催の修養團夏季講習會は十五日から十九日まで毎日午前十時より一時間旅順工科大學内に於て開催されるが會員は現在百廿名に達してゐる講師は修養團本部理事竹内浦次、赤坂繁太郎氏

あめりか丸無電　十五日午前七時港外着の豫定、乘客は五百四十三名

人事

▲高橋琢也氏(貴族院議員)　十四日卅帆香港丸にて内地へ
▲杉村勇吉氏(工大教授)　同上
▲大津義雄氏(遞信局經理課長)　同上
▲千田萬三氏(本社記者)　十三日夜發横範農場視察の爲め沿線へ出張

天氣豫報

十五日　晝一時晴れ南の風
日出四時三九分　日沒七時一九分
滿潮前四時四〇分　後四時四五分
干潮前一一時五分　後一一時一〇分

各地の溫度

	十一時	最高
大連	二三、九	二九、五
旅順	二三、二	二八、〇
營口	二七、七	三一、三
奉天	二七、九	三三、六
長春	二三、六	三三、二

權益保持のため警官五百名を增員
支那側の暴力行爲に鑑みて 五年度豫算に計上

滿洲の權益保持、鮮人の保護に對しては支那側の現狀からすれば今後如何なる手段を以て侵害されるに至るやも計られず、現に逐年各地に散在せる朝鮮人が支那側官憲から迫害を蒙り故なくして放逐されるとは屢あり其都度殆ど泣き寢入りの姿で終るのが例であるが、其他我國の滿洲に於ける特殊地域の權益は稍ともすると蹂躙され近きは榊原農場の如き或は不當課税の誅求の如き暴力行爲を以て侵害され其の數枚擧に遑がない程で、この儘推移すれば到底我國の滿洲に於ける權益は保持されない情勢であるため關東廳警務局にては特に昭和五年度豫算に警察官吏の增員を行ふことに決定し約五百名の增員をする計畫の模樣である

地方民保護に警備力充實
軍隊出動までは警察力 西山警務課長談

右につき西山警務課長は語る
北滿方面の風雲と云ひ最近の支那側の態度は總ゆる方面に於て排他的運動が著しく濃厚となり鐵道警備には軍隊はあるが、地方民の保護と權益を保持する爲には警察署員の努力に俟たねばならぬが、人員は現狀に於て非常に不備であるから來年度は是非相當の增員をする考へである
最近滿鐵沿線及各地を調査した結果鮮人の如きも支那側の壓迫を受けてゐるから保護するの必要あり、且つ權益、權益と稱するもこれを完全に擁護するには軍隊の出動を待つ前に於ては警察官吏の手に賴らねばならぬことを痛切に感じたので各地警察署からの要求もあり警備力の充實に重きを置く方針である

碧流河沖で漁船と漁夫抑留
貔子窩署で引渡要求 罰金を命じ莊河縣に連行

大連市外老虎灘會轉山屯漁業松尾陣作は支那人漁夫四名を連れ去る一日老虎灘を出帆貔子窩管內碧流河沖合石城島近海に於て鰯延繩漁業中、去る三日午後一時ころ突如支那官憲が松尾等の漁船に迫り支那領海なるを以て漁業禁止を命じ罰金十圓を要求したので松尾は所持金なき旨を答へるや、支那官憲は漁船二隻と松尾及び漁夫二名を拘引し漁夫二名に漁獲物を大連に輸送し支那官憲の要求せる金員調達方を嚴命した
漁夫二名は十五馬力發動汽船にて老虎灘に歸港金員を調達のうへ、五日現場に急航したところ松尾及び漁夫二名は既に支那官憲に抑留され、莊河縣に連行された後であつたので、空しく十三日午後三時大連に歸港この旨水產會大連支部に屆出した 同支部では直に大連署へ救助方を願出たので大連署から貔子窩警察署に急報し、目下支那官憲に引渡方を交渉中である

榊原事件調査
青聯旅順支部

榊原農場事件に憤慨した青年聯盟旅順支部では十三日午後三時半から學藝倶樂部に於て緊急委員會を開催し、本部派遣員と同一行動の下に之が調査に赴く委員の選定をなしたが、選出された中川支部長は今夜旅順を發し、大連で本部派遣員と落合ひ直に奉天に赴く由である
因に旅順支部では中川支部長の歸連を待つて演說會を開催し、奉天に於ける支那の暴狀、其他時事問題等に就いて演說する筈である

支那官憲の暴戾に大石橋市民蹶起す
滑石山鑛區の同收を叫んで 市民大會で決議文

去る十日午前十一時海城縣營子峪なる伊藤謙次郎氏經營の滑石礦區を突如無法にも同地支那官民が武力を以て

採掘 即時中止の暴擧に出で遂に採掘不能に陷らしめた事件は既報の如く奉天榊原農場問題と共に滿洲に於ける邦人權益に對する支那官憲の排日的露骨なる暴戾の現れとして一般に注意されてゐたが、大石橋市民協會では該事件を單に一個人の損害とし傍觀すべきに非ず個人の利權は即ち國家の利權で且つ其の產出する礦石は全部日本の貿易乃至生產工業に必要缺くべからざるものに屬するとの見地に

立脚 し去る十二日午後八時大石橋公會堂に市民大會を開催し、伊藤氏十年苦心の結晶と約十萬圓の投資額に對し支那官民橫暴の爲め之を回收するの餘地なきに至らしめられた伊藤氏に同情聲援し國家の威を藉りて支那官民の不法排日行爲に對抗し之を完全に回收して事業を繼續せしむべしと衆議一決左の如き決議文を作成し各方面へ配付聲援を仰ぐ事として散會した

決議文

去る十日午前十一時當地伊藤洋行が十年間の久しきに亘り苦心經營せる滑石山に對し支那官憲は二十名の武裝巡警並に「モーゼル銃」を携帶せる便衣隊八名を加へたる一隊を以て採掘に從事せる工夫を威喝し之を追拂ひ工夫頭一名を捕縛し且作業監督の邦人に對し罵詈暴行を敢てし直ちに退去を命じ作業は全く中止の止むなきに至らしめたり曩に榊原農場に於ける暴虐事件あり、今亦此の無法極まる暴戾を敢てす、近時支那官民の排日的行爲並に利權不法回收の暴擧は南北滿洲を通じて愈々旺盛猛烈を極むるに至れり
若し此の形勢を推移するに委せんか在滿同胞は遂に退却の外なかるべし冀くば既得權益擁護の見地に基き速に適切有効なる手段を敢行し安んじて其業務に從事し得る樣最善の努力を致されんことを要望す
右決議す
昭和四年七月十二日 大石橋市民大會

△△△雨もよひ▽▽▽ 老虎灘の水田

黒石礁の天幕生活
可愛い長春の健兒團員

黒石礁滿鐵海水浴場附近に十三日突如三つのキャンプが張られて可愛い少年團服を着た二十餘名の少年達がキビ〳〵した訓練振りを見せて炊事から寢具の仕末など甲斐々々しく立働いて、折柄出盛りの海水浴客の注目を惹いてゐる
この可愛いキャンプ隊は長春健兒團本部が夏季休暇を利用して班長實修の爲め天幕生活を實施演習するので長春商業、長春及鐵嶺小學校生徒合計二十一名で少年團日本聯盟長春健兒團隊長竹下國雄氏に引率され午前五時半起床、午後八時五十分就寢に至るまで毎日規律正しい標準日課を訓練しつゝある 大連に四日、旅順四日、夏家河子二日、熊岳城一日のキャンプ生活を實修して二十五日に長春へ歸る筈だといふ

異郷に病む父の許へ獨り旅
形見の人形を抱きロシアへ 片山千代子さん出發

【敦賀特電十四日發】十三日午後六時敦賀を解纜した敦浦聯絡船天草丸の甲板上で絽の浴衣に博多の夏帶束髮姿のうら若い日本婦人が黒いセルロイドの人形を抱いて棧橋に只一人見送る母に涙の別れを告げて人目をさけつゝ淋しく赤露に旅立つた、これはモスコーに病む父戀しく十六年の昔父から與へられた形見の人形を抱いてはるばるモスコーに向ふ片山潛氏の次女千代子さん(三二)である、愛娘の一人旅を案じて東京から見送りに來た母の原きよ子さんと共にかすかな追憶を呼び起しつゝ千代子さんは出帆前に
父はもう七十五歳になりました日本を去りましたのは十六年の昔、妾が六つの時で父の顔はうすら覺えです、その頃から父は非常に病弱でした、入露の上は二ケ月程專ら父の看病をして來たいと思ひます、姉のやす子についでは伊太利以來何の消息もなく、全く不明です
と淋しく語つた

明日は霽れる
けさ坪一斗六升の雨

十二、十三日と恐ろしく蒸暑い天氣が續いたが、十四日は午前五時四十五分から到頭雨となり同十時十五分迄に八、六ミリ「坪當り一斗六升」の雨量で折角の日曜に各海濱への人々の出足はにぶらしたもの、旱魃に苦む農家に取つては甘露の慈雨で水田は勿論凡ての農作物を蘇生らした、觀測所の語る處に依ると
滿洲梅雨時の氣壓の配置で十四日中は曇り勝ち、時々小雨を降らすが漸次持ち直し十五日は多分霽れる見込みだとある

△△△フランスの刑事警部が有馬温泉で盗難に遭ふ

【神戸特電十三日發】フランスの刑事警部が身ぐるみ盜まれた話……日本の探偵狀態を視察のため來朝、八日來兵庫縣有馬溫泉有馬ホテルに滯在してゐる巴里警視廳刑事警部チヤーレス・ベーデイ氏(四三)の部屋へ十三日午前一時半から四時半までの間に賊忍び入り同氏の洋服から靴、其他現金までスツカリ盜んで逃げたことを夜が明けてから發見したがさすがにその筋の人でも他國ではどうにも仕方なく縣外事課へ屆出た

怨めしい五十萬圓
口車に乘せて褚氏の身代金を 「まんまと猫ばゝ」

「金さえよこしたら褚玉璞の身體は下げ渡す」と云ふ甘い口車にウマ〳〵乘つて去る十一日折角歸つて來たのに又々高松丸を借り切つて芝罘に赴いた褚玉璞部下楊副宗氏王交渉員等は何んと云ふ事か?金五十萬圓を綺麗にまきあげられた揚句「氣に入らなけりや歸つて行け」と突き放され何處に文句のつけ樣もなく十四日朝又々スゴ〳〵高松丸で引返して來た。
◇聞く所によると楊副官の一行は十一日の午後十二時頃芝罘に到着、十二日の朝九時頃褚玉璞氏が監禁してあると稱するアストラハウスに王交渉員外二名を派し種々交渉を重ねたが、當時劉珍年氏は既に北平にあつて劉介石と面談中で留守司令劉子健氏が專らこの衝にあたり「金さへ渡したら褚玉璞氏の身體は何とかする」と言明したので、早速滙々銀行渡しの五十萬圓の小切手を交附すると、彼等は直に該金子のみ受取つて、さて「今劉珍年氏が北平に行つて留守であるから一應電報で問ひ合せた上で何とか返答する」と以前の態度はガラリ一變したので慌て切つた受取人達は種々交渉するところあつたが結局何時まで經つてもラチがあかずやむなく劉珍年側に誠意がないものと見切りをつけ歸連したものであると
◇尚褚玉璞氏が面會に行つた交渉員に對して言明したところによると「劉も武將であらうから金丈は渡してくれ、もしそれで駄目だつたら俺はもう死を覺悟する」蓋し五十萬圓をマンマとせしめた劉珍年は近來の大詐欺師であると評判されてゐる。

疾病兵の送還

六月分滿洲及び北支那陸軍部隊內地還送患者は三十三名にて一行は一昨日來大連陸軍病院防分隊に收容中であつたが十四日出帆香港丸で太田一等軍醫に護送されて廣島に向け出帆した 主なる疾病は肋膜炎十六名、肺尖カタル八名、肺結核三名であると

專門學校檢定試驗合格者

本年六月關東廳學務課で施行した第七回專門學校檢定試驗に合格證及び學科目各種證明書を更付されたものは左の諸氏である
合格證 飯田紀之(長野)手島中之助(廣島)西山玉司(神奈川)▲修身國語 高橋榦夫(岡山)▲修身 富田儀助(山口)▲國語、體操 笠井壽一(靜岡)▲修身 古澤孝一(岩手)▲修身漢文、歷史、物理化學 安達諄(大分)濱添幸太郎(京都)中川了信(滋賀)大塚高(佐賀)麻野井祐友(長野)庫間味庸愼(沖繩)米丸辰男(鹿兒島)今村護(大分)有間勇(島根)東時義(鹿兒島)名取富雄(大阪)吉重松二(鹿兒島)森網(同上)菱川英夫(山形)太田賢吉(大阪)大淵寅松(新潟)森崎武夫(長崎)若林孝(長野)

白國皇帝が海水浴中御盜難

【オステンド十三日發電】白耳義皇帝アルバート陛下が本日當地に海水浴中陛下の御着衣場に賊忍び込み陛下の金時計、金飾り付ナイフ、紙幣五百フラン在中の札入れ書類を竊取した

投げた瓶から痘瘡患者發見

十三日午後三時十五分ごろ日本橋警官派出所詰黑田巡查は常盤町五十一番地鄒共通かた前を警邏中、同家二階の窓より牛乳瓶を投下したので偶下の道路に遊んでゐた子供に命中し怪我した爲め同家に至り調査した處、隣室にゐた菓子製造業職人祁雲亭長男祁小才(二)が痘瘡に罹り臥床してゐるのを發見直に療病院に收容すると共に家屋の消毒を行つた

哀れな鍛冶屋一家へ同情金

十三日本紙夕刊所報「妻は狂ひ長男死し途方に暮れる鍛冶屋一家」の沙河口元町七六安藤孫八(四〇)が不埒な雇ひ人には持ち逃げされ長男は死亡し重なる不幸に發狂せる妻と十一歳を頭に當歳の嬰兒まで都合五人の幼兒を抱へ、貧困の中に汗みどろ血みどろの生活苦と戰ひながら當惑してゐる不幸な運命に同情し、市內松山臺社會研究會主幹山田武吉氏は深く同情し十三日午前金三圓を安藤へ贈り度しと本社へ取次ぎ方申出でた、なほ沙河口署を通じ沙河口大正通一八野口正男氏より金五圓聖德會より金二圓及び白米一斗二升の寄贈があつたと

雨天で小銃射擊會中止さる

本社後援第三十一回小銃射擊會は十四日擧行の筈のところ雨天の爲來る廿一日の日曜に延期となつた

大連神社月次祭

十五日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町東伏見臺區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭典を執行する

國際北馬

◇……中山前石川縣知事、間野前內務、歌川前警察兩部長の送別宴は十二日金澤市公會堂で行はれたが料理の腐敗から出席者中下痢患者續發し間野、歌川兩氏の如きも罹病して十三日出發の豫定を變更するに至つた【金澤十三日發電】
◇……十三日福島地方は氣溫急騰し午後二時半九十七度にて大正七年來の酷暑を示し小川の魚はしき上り屋內は百度の苦熱を呈した【福島十三日發電】

コドモページ

對話 孟蘭盆の話

はるみち

一郎。お父さん秀ちゃんのおうちに岐阜提灯がたくさん吊るしてありましたよ。

父。お盆だからだ、新佛のある家ではお盆に灯をともして佛を祭るのだ。

一郎。お盆つてどんなことですか

父。盆といふのはつまり孟蘭盆のことで精靈祭とも言つてゐる。これは七月の十三日から十五日に至る三日間祖先の靈を祭る佛式なのだ。

一郎。どうして精靈祭のことを孟蘭盆といふのですか。

父。孟蘭盆といふのは梵語から出た言葉で墮落者を救ふといふ意味があるのださうだ。

一郎。お盆はいつ頃から始まつたのですか。

父。もと〳〵これは印度から支那に傳はり續いて日本に傳はつたものだが、支那では唐の宗帝の時代から始まり、日本では齋明天皇の三年七月に初めて法興寺で孟蘭盆會が催されたと記録に出てゐる。しかし之が一般民間に行はれるやうになつたのは聖武天皇の天平五年からださうだ

一郎。孟蘭盆にはどんなことをするのですか。

父。今日行はれてゐる孟蘭盆會は地方によつて違ふ、満洲のやうな植民地だとか內地でも大きな都會などではあまりやつてゐる家はないやうだが、內地の田舍へ行くと今でも盛にやつてゐる。それも宗派によつて違ふが、普通は佛壇にいろ〳〵のお供物をしたり燈火をつけたりする、そして十六日の朝になると供物はみんな菰に包んで川に流したり地中に埋たりする。それから十三日の日には迎ひ火と言つて門口で麥藁を焚き十六日の朝或は十六日の夜などに送火と言つて火を焚いたりするところもある

一郎。どうして火を焚いたりするのですか。

父。つまり迎ひ火とか送火とかいふのは佛樣を迎へて送る意味なのだ。

おはなし 牽牛織女と二つの釣瓶

長春 山田健二

庭の隅に古い井戸があつて二つの釣瓶がかけてあります。

二つの釣瓶は雄つるべと雌釣瓶で生れる時から一處で本當に仲好しでした。けれども未だ一度もお互ひに手を取合つてゆつくりお話しすることが出來ませんでした。雄釣瓶が水を一パイ持つて上に登る時には雌つるべは暗い井戸の中に下りて行かねばなりませんし雌釣瓶が登る時は雄釣瓶は反對に下りなければならないのでした。

そして其の途中で一寸すれ違ふだけで、とてもお話しなどする暇はないのです。二人はすれ違ふたびに心から名殘りおしさうに見送り見送られながら自分たちほど不幸なものはあるまいと悲しみました。

こちらはお空です。砂金で埋めた樣な天の川の兩岸には一年一度の會ふ瀨を樂しみに牽牛、織女の二つの星はお互ひに招きあつてゐました。そしてこちらへ渡れない織女は、ぬれるのもかまはず天の川を渡り出しました。

二つの釣瓶は上と下でうらやましそうにそれを眺めてゐます。織女は銀の波を押し分けながら段々向ふ岸に近付いて行きます牽牛は兩手を差しのべて待つてゐます。

變り易い夏の空は何時の間にか墨汁の樣な黒雲が現れたと思ふ暇もなく……ポツリツと落て來ました。丁度織女が川の中程に着いた頃雨のために天の川は見る〳〵內に溢れて來て矢の樣な勢ひで流れだしました。

「あツ！危ない！」……向ふ岸で見てゐた牽牛は思はず叫びましたがどうすることも出來ません。

織女は助けを求める勇氣もなくヨロ〳〵流れに押れながらやつともとの岸にたどり着きばつたり倒れてしまひました。

二つの星の間には、どうしても渡ることの出來ない、流れが勝利のマーチをかなでる樣にゴー〳〵と流れてゐます。二つの星は又來年の今夜まで會へないのです。

この有樣を遥か下界から眺めてゐた二つの釣瓶の眼にはいつか同情の淚が光つてゐました。

そして同じ樣につぶやきました

「あゝ私達はなんて幸ひなんだらう、一番幸福だと羨んで居た牽牛、織女さんより私達の方がどれ程幸ひだかわからない、あの人たちは一年に一度きり……それさへ今年は會へなかつたのだ。私たちは毎日何度でも働けば働くだけ餘計に會ふとが出來る。ほんとうに私達はしあはせだ」

二つのつるべは自分達の身の幸福を喜びました(をはり)

ニドメノ 大チヤンノタンケン (72)

ヘルミチ作　ジラウ畫

ロビンソンノヤウナ　オヂサン、大チヤンノ　ソバニ　チカヅイテ　キマシタ　ミギノテニハ　テツパウヲ　モツテキマス　大チヤンハ　ソノオヂサンヲ　フシギサウニ　ミアゲマシタ。

「ボツチヤン　ホントニ　アブナイコトデシタネ。ワタシガ　コナケレバ　ボツチヤンハ　ドジンドモニ　クワレテシマフトコロデシタヨ」ト　ロビンソンノヤウナ　オヂサンガイヒマシタ

「エツ、デハ　オヂサンガ　ボクヲ　タスケテクレタノデスカ　ソシテ　オヂサンハ　ニツポンジンデスネ」大チヤンハ　ナツカシサウニ　ソノ　オヂサンノカホヲ　ミマシタ。

青年會少年部 キャンプ開始

敷島町基督教青年會少年部石礑屯キャンプは、各學校及少年團等の海濱聚落やキャンプの終了後中等學生の爲めに七月二十六日より二週間、小學生の爲め八月六日から二週間宛開始することになつた、詳細は同會に問合せられたしと

童謠 スワン船

沼田冬子

廣いたゝみの
あをいうみ
白いペンキの
スワンぶね

おきやくは
ぴつこのメリイさん
向ふの岸まで
まいります

向ひの岸は
タンス町
タンスの角で
とまります

とまりや下りる
お客さま
ぼう〳〵ぼうと
スワンぶね
たゝみのうみに
うかんでる。

オトウサンノオカヘリ

大廣場小學校一年 村田知子

ミナデ　マツテタ
トウサマガ
ココノカノヒニ
オカヘリヨ
トモコノ　ミヤゲノ
オニンギヨハ
イマゴロ　キツト
トランクノ
ナカデ　オネンネ
シテルデセウ
ハヤク　九ニチニ
ナレバヨイ

水泳場めぐり ―(2)―

山の影を映した 老虎灘の入江 十七八年來の 常盤校の水泳場

×

老虎灘線の汐見橋終點で電車を降り山を一つ越すとそこには老虎灘屯の入江が深く灣入してゐる。此の入江の一番奥に行詰た斷崖の下が常盤小學校の水泳場である。

×

常盤校が水泳場をこゝに決めたのは今から十七八年程前のとで其の當時舊校舍の一部であつた木造の手工教室をこゝに移して脫衣場にしてから幾星霜、屋根は朽ち板ははがれて、今は見る蔭もない茅屋になつてゐるがどうにかかうにか修繕をして毎年使用してゐる。しかし年々兒童數が殖えてゆくので全部を收容し切れず、脫衣場は女子だけが使用し、男子はカン〳〵日の照る砂の上にアンペラを敷いて脫衣場としてゐる。隣々とした脫衣場を持つてゐる春日小學校に比べて實に雲泥の相違だ。何とかしなければと學校でも氣をもんで居るが中々思ふやうに增築も出來ないらしい。

×

此バラツクは平素は附近に住んでゐる支那人漁民が勝手に寢寢の場所にしたり夜の集會所にしたり、時には便所代りに使はれたりするので荒され放題である。

×

こゝの海は潮が引くと足場が惡くなるが潮の滿ちてゐる時は水泳には極めて都合がいゝ、五級以上は舟に乘つて沖へ出て泳ぐ、飛込臺はないが沖に碇泊してゐる大きな漁船の甲板が利用されて立派に飛込み臺の代りをする。この海の缺點は支那人部落を控てゐるだけに海が幾分汚いのと靜浦と同じやうに水が冷たいことだ。

×

記者が行つた時は泳げない連中が竹田先生のメガホンの號令に從つて波打ち際でバチヤ〳〵やつてゐるところ「手をつけツ、膝をつけツ、腹を下につけツ、足を動かせツ」そこへ大きな波がドブリと來て金槌連はキヤツキヤツと奇聲を放つ、中々賑やかなことだ。

×

此樣子を此の間歐米視察から歸つたばかりの外池校長が脫衣場の中からフロツク姿でいかめしく眺めてゐる。水泳場にフロツクはおかしいと思つて訊いて見ると「實は歸朝の挨拶廻りをしてそのまゝこゝにやつて來たのだ」とある。

×

それから水泳のとはそつちのけで外池校長の歐米觀察談が頗るはづむ、記者もついつり込まれて水泳場を見に來ながら水泳のことをすつかり忘れてしまつた。

×

その中に「カラン、カラン」とベルが鳴る。水泳終りの合圖だ。先生も生徒もあわてゝ海から上つて來る。

×

かくて水泳が終ると一同はまたテク〳〵と山を越え、三臺の電車に分乘して學校に歸るのである。(寫眞は賑はつてゐる常盤校の水泳場)

新刊教育書紹介

▲教育論叢(七月號) 國民指導原理としての國史、讀書の心理、思想問題再考、自然研究に基く衛生教授、兒童に時間觀念を養成せしめる方法、教育映畫當面の諸問題等(五十錢東京市牛込區赤城元町文教書院)

▲學校經營の實際(七月號) 通信機關としての學校新聞、獨逸に於ける實驗學校、兒童遊園と學校給食に就て、學校の家庭化と家庭の學校化、其の他主張と研究、紀行と創作等(五十錢東京市神田區表猿樂町南光社)

平安異香 (49)

葉多默太郎 作　中一彌 畫

處女受難(一八)

花見雪とでもいふのか、綻びかけた彼岸櫻にしんしんと雪が降る——。

こゝは東山の勸修寺邸內、邦貞の居室。

屏風の椅子に腰かけて、網代塗の卓を挾んで對してゐるのは邦貞と春光だつた。

卓におかれた銀の鳥籠には、人語を解すといふ色彩の美麗な珍鳥が、二人の話に聞き入る如く、頻りに丸い頭を傾けてゐる。

「して、春光、それは何時の出來ごとだつた?その娘のかどわかされたのは?」

弱々しい邦貞の面に、今日は一入憂ひの色が深かつた。

「昨日の薄暮のことだと聞いた」

春光の眼には、一瞬もじつとしてゐられないやうないらいらしさが見えてゐる。

「それでは、昨夜からその娘はこの邸にゐる筈ですね」

「さうです。貴公は何か氣が付かなかつただらうか」

「私は何時もこの居間に閉ぢ籠つたきりだから……」

「ゐるとすると、何處にゐるだらう」

「私の知らない部屋もいろいろあるので分らない」

「ぢや、どうすればいゝのだ、邦貞。それを教へてくれ、それを。何か方法を考へてくれ。自分でこの邸中を驅け廻つて探したいやうな衝動を感ずるのだが……」

「それは絕對に駄目です。悲しいことだが、私には、かういふ場合に父が貴公をどんな扱ひ方をするかよく分る。父には非常な慘酷なところがあるのです。慘忍性とでもいつたやうなものが……」

「あ、さうだ、邦貞、夫人に助言を賴むといゝ。な、さうだ。いゝ考へだらう」

いふと邦貞が膝をうつかと思つたが、邦貞の面は一層暗くなつたやうだ。

「どうしてだ?いけないのか?」

「駄目です。繼母は一層よくない——繼母は父の不品行を笑つて見てゐるたちの人です。惡魔のやうな冷笑でもつて……」

邦貞の聲は沈痛だつた。繼母のことに觸れたくない樣子だつた。

「さうですか——」

春光は伏目になつて唇を嚙んだ。

深い絕望がひしひしと胸を締つけて、息苦しくなるのだつた。

こんなにしてゐる間にも、處女の身に刻々毒爪が迫つてゐるであらう。身體を八ツ裂きにするよりもつと慘酷な毒爪!

「あゝ」

しかも、それが今この目に見えてゐるこの邸の何處かで行はれてゐるのだ。あの母屋か。あの對の屋か、母屋の向ふの屋根の見えてゐる離れかも知れぬ。それを今見てゐながら、どうする事も出來ない。見殺しにしてゐるやうなものだ——。

「あゝ、邦貞」

春光は思はず聲をたてた。絕望の悲鳴だ。

すると、それと同時に、長い沈默から顏を揚げて邦貞が云つた。

「春光、一つの途がある。今ふと思ひつきました」

「一つの途——?」

縋り付くやうに邦貞の手をとつた春光。

「それは何です。どうしろといふのです」

「父はあれで非常に體面を大事がる人です。殆ど體面を守るといふことが人生の目的と思つてゐるのではないかと思はれる位です。それで思ひついたのですが、君はこれからすぐ使廳へ行つて、蒔繪師の是信の代理として幸さんの誘拐されたことを訴へなさい」

「使廳の長官である貴公の父を訴へる——?」

「さうではない。つまり勸修寺の御家人の足海三左衞門が誘拐したものとして、三左衞門を訴へるのです。すると父はいやでも公向には三左衞門を叱つて娘を返せと云ひつけたといふことにして、幸さんを返す——どうだらうか」

「うまく行くか知ら。だが一つの機微を摑んだ方法ではあるらしい」

「他に手段がないやうに思ふのだが——」

「有難う、邦貞。私はすぐそれをやつてみませう」

春光はすぐ立上つた。

映畫と演藝

石井氏の引退 撮影所を渡す

松竹キネマと帝キネとの提携は其後、東京、九州兩支社の廢止となつて表れ、漸く合併の色を濃くしてゐるが、豫て必然的に色々と噂の的になつてゐた長瀨撮影所の移管問題に就て所主石井虎松氏は愈々此程本社に移管方を申込んでゐるので、多分來月上旬に開かれる重役會で決定、此處に多年の問題も解決するものと思はれる、右に就て當の石井氏は

「兎に角、暫く休養させて頂く事にしました、撮影所を本社に經營して貰ふ事はかねてから私の望んでゐた處で、たゞ若しそのために現在の所員が故なく脅迫されたり、また解雇されたりすれば私としては何等の處置に出なければならないが松竹さんが居られる事だし、萬々そんな事もないと信じて安心してお願ひする譯です」

と語つてゐる

映畫界東西

東亞の株式過半數が完全に八千代生命に歸し前專務白水氏は相談役になるものと見られてゐる

◇

松竹蒲田に入つた高田稔は井上と共演して「アメリカ航路」に着したが更に田中絹代と共演

◇

無聲映畫は今後十八ケ月以內に影をひそめるだらうとジャック・ワーナーが氣焰をあげてゐる

岡田時彥が日活を退社 レヴュウ出演

日活現代劇部のスター岡田時彥は今度日活を退社して松竹座チエーンのレヴューに出演ずる事になつた、一週五百圓、七週間の契約である、そのあとは蒲田撮影所で一ケ年働き俳優をやめるといふ事で日活の諒解を得たらしくレヴュー出演の金で老父の生活の安定をさせるといふのが主たる目的だといふので日活もこれを容認したとの事である

紅蓮浄土

右太衞門映畫としては妙にこぢれたところがなく淡々とした平凡な味であるが、その方が嫌味がなくて良い 監督は下加茂の星哲六で渦紋流しと同じやうな手法である、志賀沙良夫の原作を監督が脚色した七卷ものであるが、テーマの影も薄いし人の扱ひ方が一向突込んだところがなく筋を運んだゞけである、カメラはムラがあるが大體に從來の右太衞門物としては良い方である、たゞ二軍轉換の連續には惱まされる、右太衞門の新八郎は無難 五味國枝の藝者〆香は阪妻時代の佛がなくイットが失はれて終つたこれは顏が肥えたのにも因るだらうが、メイキアップが白すぎる、矢張り淺黑い肌を思はせるやうなアップの方が生硬な感じが無くて良い、諸岡鐵齋は何とかならぬものか、全體の姿は「野良犬」よりはずつと氣持よく見られる

すくりーん

浪速館の「からたちの花」は映畫人は見て欲しい作品だと秋村君が頑張つてゐる▲次週は小唄映畫「沙漠に陽は落ちて」を上映▲演藝館の物凄い宣言も良いが營業委員會は悪い洒落だと映畫街の評判▲今週は帝キネの花柳映畫「糸の亂れ」で嬉しい皆様を吸集するのだとのこと▲勿論小笠原ライオン君の熱演である▲しかし月形の小品「やくざもの」にマキ智の「女定九郎」と一寸面白い番組ではある▲國產トーキーの公開——マキノ出張所で近く何か發表するらしいとの噂もある▲科學的映畫の確立も結構であるが、エレクトラによる伴奏式映畫もアーバンでは裝置不可能とあるから各館とも資格なしといふことになる

◇◇紅蓮浄土◇◇

右太衞門プロ作品、星哲六監督市川右太衞門主演の七卷もの【帝國館上映】

滿洲日報

第四回配本―十四日

現代醫學大辭典

皮膚科學篇

醫學博士 岡村龍彦
醫學博士 遠山郁三
醫學博士 太田正雄
醫學博士 加藤泰
醫學博士 長谷川宗憲
醫學士 市川篤一
醫學士 五十嵐信二
醫學士 並木重郎

世界大思想全集

第廿九回配本

第一期

タゴール 創造的統一
ガンヂー 論文集
胡適 建設的文學革命論其他

右の三著は、いづれも現代の東洋を代表する偉大な思想家の、それ〴〵の中心思想である。タゴールは古館清太郎氏、ガンヂーは高田雄種氏、胡適は願田泉氏の譯。何れも苦心に成る流麗の譯文である。雄篇に味ふに最も相應はしき名著である。

第四回配本

第二期

ギボン著 野々村戒三譯 羅馬衰亡史(一)

第一卷を壓本するギボンの『羅馬衰亡史』は、廿四年の長い歲月を閲し、言語に絕した苦心と、準備とに成れる不朽の名著、榮華の夢漫まやかなりし羅馬の沒落を、社會科學的に立證せるもの。第五回配本は、『譯文大日本史』第二卷である。

大思想 エンサイクロペヂア

第二十回配本

社會問題(上卷)

▼社會問題概論…永井亨▼農民運動論…杉山元治郎▼都市政策…安部磯雄▼農村社會問題…河西太一郎▼土地國有論…安部磯雄▼社會教育…小尾範治▼勞働組合の機能…田邊忠男▼人口問題…玉井茂▼協同組合…本位田祥男

第二回募集 第五回配本 哲學辭典=辭典之部 第五回配本 經濟辭典

良人の自白 全二冊

木下尙江著

これほど深刻に理想と現實の葛藤を描いて、生存の苦惱と戀愛の高貴とを描いて、しかも葛藤と苦惱の彼方に美しい黎明を謳つた小說が他にあるだらうか。此作品こそは世界に向つて日本文學の爲に萬丈の氣を吐くものだ版を絕つ事廿年、玆に輝しく復活した、眞の傑作として大方に薦む。

▼上卷 四六判五四〇頁 ▼下卷 四六判六三〇頁 ▼定價(各)壹圓五拾錢 ▼送料(各)十四錢

靈か肉か(長篇小說) 木下尙江著 四六判四五〇頁 定價壹圓五拾錢 送料十四錢

人生讀本 全二冊

トルストイ著 八住利雄譯

『人間の眞の生活、眞の幸福は奈邊に在るか!』トルストイは其解決の爲に本書を著はした。全人類を救はんとする焰の如き熱誠が玆に凝結したのだ。世界の輝しき言葉の一切が玆に在る。玆には一頁の無駄もない。一言一句、凡て永遠不朽のもの許りだ。良書中の良書として本書を推薦す。

▼四六判(各)四百頁 ▼價各二・〇〇 送料各・一四

目錄進呈 東京麴町內山下町 振替東京二四八六一 電話銀座五六五二・五六五三

春秋社

餅は……餅屋へ

煖房衛生工事の御用命は

大連市監部通一〇九番地

(高) 高石商會

電話三五〇二番へ

眞鍮看板調製 ネームプレート

大連市淡路町十七

沖本ブリキ店

電話六二六一番

映画スター全集

海に・山に・机邊に・綠蔭に・此の集ありて夏は香ぐはし!!

第一卷 大河內傳次郎・栗島すみ子・鈴木傳明・酒井米子篇
第二卷 夏川靜江・阪東妻三郎・八雲惠美子・岡田時彦篇
第三卷 片岡千惠藏・田中絹代・林長二郎・原駒子篇
第四卷 伏見直江・市川百々之助・森靜子・中野英治篇
第五卷 河部五郎・鈴木澄子・岩田祐吉・入江たか子篇
第六卷 梅村蓉子・市川右太衛門・歌川八重子・井上正夫篇
第七卷 月形龍之介・筑波雪子・山本嘉一・瀧花久子篇
第八卷 マキノ智子・高田稔・龍田靜枝・光岡龍三郎篇
第九卷 島田嘉七・大林梅子・廣瀨恒美・柳さく子篇
第十卷 千早晶子・南光明・川田芳子・淺岡信夫篇

これは誰ですか?
勿論御存じでせう!

見る全集!

現代の日本映畫界が持つ代表的名優達の――其の素顏、其の幼少時代、其の學生時代、其の家庭生活、其の樂屋裏、そして其の出演の華やかな場面、それぞれ得難き寫眞版の數々!

第一回配本(第一卷) 七月十日より申込順に配本!

菊大判特上製美本函入・原色版四枚 グラヴィア印刷八十八枚・寫眞十六頁

申込金不要

東京麴町 下六番町 平凡社 振替東京二九六三九

一時拂六圓五十錢・締切七月卅一日

一冊七十錢

送料各冊二十錢・東京市內六錢

40

御園クレーム

潮風にも荒れぬ肌

日やけもせぬ肌
いき〳〵と美しい肌
この良きクレームで
夏は殊更ら爽快!

御料御園白粉本舖

建築―設計―監督 構造―計算―鑑定

宗像建築事務所

工學士 宗像主一

大連市播磨町六七 電話三四九五番

學生募集

D.A.S.

大連自動車學校

每月一日開始 就職の近道

紳士的でモダーンなる職業月收百圓內外のスラフル最適それは自動車界のみの特典である

晝間部 午前九時より午後四時迄
夜間部 午後六時より午後八時迄

山縣通二〇〇 電話二三四五番

短期卒業(二ケ月で斯界に活躍す)

實力本位、學費低廉、卒業後就職紹介、責任を以て引受く免許試驗當に一頭地を抜く受驗の時は教師付添ひ無料貸與內容施設は在學生に付き確認せられよ

女子部八月一日より特別開設

少女畫報

少女の綠蔭は八月の少女畫報

八月特輯 友愛讃美號!!

オフセット刷 新案室內避暑法

新作童話 海の踊 小川未明

傑作長篇 ナイル薔薇曲 丘の鳩・横爪三木

長篇 死の呪符 眞澄

新連載 ポリアナ 山田百合子

三日月草紙

紅血怨讐錄

少女物語 猿をつれた娘 藤原健二郎

映畫 シネマセクション

色刷り幻想繪卷

グラビア寫眞

本誌獨特

微笑新聞 海洋夜話 少女笑話 物の始まり 海の話 山の話

(一冊定價五拾錢送料貳錢・半年分共三圓・一年同五圓八拾錢)

東京市京橋區 振替東京九〇〇 東京社

脚氣にオリザニン

ヴィタミンBの世界的始祖

脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり

オリザニンは脚氣の外 (1) 重病經過中に來る榮養障碍及其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け、惡阻を輕減若くは防止し便秘を去るに極めて適切なるを知らる。

類似品多數ありオリザニンと指定を要す

粉末、錠劑、液劑、糖衣錠劑、注射劑の各種あり (實驗報告集進呈)

東京室町 三共株式會社

大連山縣通一九三 株式會社三共製藥大連販賣所

勞農、支那政府に對し愈よ最後通牒を發す

東鐵問題の和平解決に關し三日內に回答せよと

【モスコー十四日發電】ロシア政府は東支線問題で支那政府に最後の通牒を發した、右は東支線管理權移管の和平解決策數ケ條を並べ三日間內に支那の回答を求め尚ロシアは國際法上の權利擁護の爲め他の手段を採ることあるべきを示してゐる

挑戰的暴擧を忍んで東鐵問題交渉に應ず

支那反省せざれば斷乎處置

勞農最後通牒の內容

【モスコー特電十四日發】勞農政府外務省は日曜にも拘らず十四日早朝當地駐箚支那代理公使に東支鐵道管理權强制回收及び其後の紛爭に就き大要左の如き通牒を手交し若支那にして反省する所無くんば斷乎たる決心を爲すべく用意ありとの旨を明かにした、尚右通牒の日附は十三日となつてゐる

支那當局は一九二四年の奉露協定を蹂躪し東支鐵道の經營管理に關し幾度か暴擧を繰返した、回顧すれば我がロシアは治外法權の任意廢棄や團匪事件賠償其他に就き屢々友好的態度を採つて來てゐる、今日と雖も勞農政府は東支鐵道問題解決の爲めに右と同樣の態度を以て協商に應ずる用意あるものである、眞の平和主義を政策の基調とする我が政府は支那當局の挑戰的暴擧も敢て忍んで茲に東支鐵道に關する複雜な諸問題の全般に亘り交渉に應ぜんとするものである、併しながら右交渉は支那當局が拘禁せる勞農市民を直に釋放し、併せて其實行せる違法行爲を全部中止することを條件とする、依つて勞農政府は

一、東支鐵道紛爭の全般に亙る協商を行ふため會議を招集すること
二、支那當局は東支鐵道につき行ひたる總ての任意的行動を即刻廢止する事
三、支那當局が拘禁中なるソウエート市民全部を直に釋放し且ソウエート市民が設備經營する各種の事業に對して迫害抑壓を受くる如き事無からしめる事

の三箇條を提議するものである、我政府は支那共和國の奉天政府及び國民政府に對して萬一右提議が拒否された場合に發すべき重大な結果につき熟慮せられんことを求めるものである、我政府は支那當局よりの回答を三日間以內に滿足なる回答を得る能はぬ場合には、我政府は勞農共和國の正當なる權利を擁護するために他の手段に訴へるの止む無きに至るであらう

支那の暴擧に激昂 勞農各地で示威

白系露人の活躍懸念

【モスコー十四日發電】奉天當局が國民政府の命に依り露支共同所有、共同管理の管の東支鐵に對し管理實權の強制回收を斷行した旨が昨日ロシア各地に報道さるゝや一般民衆の憤激は一方ならず到る處の大工業都市に於て示威運動が開始されレニングラード、カルコフ、オデッサ等の各地では民衆大會が開かれ勞働者等は「ロシア人の血の最後の一滴迄を擧げ政府支持の爲め努力すべきこと」を宣言した、彼等に最大の精神的ショックを與へたものは赤衛軍に依りシベリアを驅逐されて以來北滿に雌伏してゐた白露軍が滿洲軍に加はつてロシア國境附近に集中しつゝあるとの報道である、モスコー當局の語る處によれば若し右の報道が眞なりとせば無分別な反ソウエート系分子が國境を突破しシベリアに亂入する虞あり、而して白系露人は勞農政府に深い敵意を抱き居るものなるが故に張作霖時代以來滿洲軍隊に久しい關係を有してゐる彼等が凡ゆる手段を以て事態の惡化を誘致するであらうと深憂されてゐる、當地の露人外人共に勞農政府が努めて強硬手段に出づるを避けてゐることを認めてゐるが、然し若ソウエート政府の領域に侵入するものがあれば勘く共防衞的軍事行動には出る筈とされてゐる、而して事態如何に惡化するもロシア側の防備は國境及びシベリア各地に駐屯中の赤衞軍を以て充分とされてゐる

露支交渉を急ぐ

セ全權エ局長と打合せ

【ハルビン十四日發電】東鐵副理事長チルキン氏は前後三回に亘り東鐵督辦呂榮寰氏と懇談したが支那側の鼻息頗る荒く更に要領を得ないので東鐵問題に關し數日中に開かるべき露支會議のお膳立てに寧日なき有樣である、而して東鐵露支會議ロシア側全權セレブリヤコフ氏は今明日中にチタに到着、曩に支那官憲に追放された前東鐵管理局長エムシヤノフ氏以下の要人と落合つて事件の顛末を聽取した上十七日ハルビンに乘込む筈

白系露人の復職運動

【ハルビン十四日發電】支那の東鐵實權把握と共に白系露人は俄に活氣づき復職運動を起し東鐵人事課は混雜してゐる

ヱ局長に退職手當支給せず

【哈爾賓特電十四日發】十二日家族同伴滿洲里經由國外へ退去した前管理局長エムシヤノフ及び同副局長エイスモンドの兩氏はたゞ僅に本月一ケ月分の俸給を支拂はれたのみで退職手當などは全然なく非常な冷遇を受けて放逐されたものであると尚ヱ氏の家族は大連星ケ浦に避暑中であつたゝめヱ氏の出發までに間に合はなかつたゝめ十三日發ヱ氏の後を追ふた

アベンド事件

北京にて　前田特派員

◇—國民政府がニューヨーク、タイムスの北平特派員ハレット、アベンド氏を追放するといふ説は可なり以前から噂されてゐたが遂に事實になつて外交部長王正廷氏は去月十七日附で正式にア氏の追放要求の公文を米國公使マツクマレー氏に送達した、當地米國公使館が右の文書を受取つたのは二十九日であつて之が本月四日に發表された。米國公使館及びニューヨーク、タイムスは目下之が對策を講じつゝあるが未だ具體的の決定を見ないやうである。

◇—アベンド氏追放の理由は同氏が昨年來屢次國民政府及びその要人に對する侮辱的、攻撃的記事をニューヨーク、タイムス紙上に揭げ米國の對支輿論を惡化せしめたといふに在る、そしてその例證として

一、昨年十二月九日登載「宋美齡は蒋介石の權勢慾の責任者である、目下支那の困難に關係して宋美齡を怨む聲は全國に行亘り若し宋美齡が揚子江の底に沈むならば支那の苦痛は減ずるとの諺が生れた位である、蒋介石及びその野心ある妻の權勢慾は大したものでその部下等は皮肉的に蔣一族を皇族と呼ぶ」

二、本年四月二十九日登載「方振武の滿玉祥への申出では張學良の宣言と同時であつた、張の宣言は國民黨の主義は支那の唯一の希望ではあるけれども國民は心の腐つた南京の現領袖の爲めに裏切られたといふのである」

等のアベンド氏の特電を指摘してゐる。

◇—アベンド氏忌避の直接の動機は後者の張學良氏に關する記事に在るやうである、先月の初め張學良氏は王正廷氏に對して「アベンド氏の記事は甚だしく荒唐無稽なものである、自分は彼と面會したこともない、斯る中傷を事とする通信員は支那から驅逐して貰ひたい」と要求したのである。しかし國民政府は餘程以前からアベンド氏を惡んでゐた、昨年五月の濟南事件後ア氏は同地を視察して支那側の不法を知り同事件の大部分の責任は支那に在りといふ公平な判斷を下してゐる、また今春滿鐵の招待で赴滿した際も公正に日本の地位を諒解し此の意見を發表してゐる、是等のことが國民政府の感觸を害してゐる所に張學良氏の電請があつたので追放を要求するに至つたのである。

◇—國民政府はア氏の追放を決定すると共に同氏に與へてゐたプレス、カードの使用を停止したばかりでなく商用電報の發信をも差止むるに至つた、之は明かに萬國電信規約に違反するものであつて無法も甚だしいと謂はなければならぬ、そも〳〵物事に對して人各々見解を異にするは當然であつて殊に政治の如き複雜多端、活動的事象に對しては最も然らざるを得ない、支那政府が己の意に副はない評論を爲したと言つて筆者の筆を封ずることは自稱革命政府に最も似合しからざることである、日本政府が神戸クロニクルに對し曾て干渉を加へたことがないのと較べて度量の廣狹同日の談でない、況んや支那の政府人の爲す所の如何なるものなるかは世界に既に定評がある。

◇—米國公使は國務省の訓令を仰いだ結果相當強硬なる態度に出るらしく、目下在上海の法律家に依囑して本事件の法律的研究を進めてゐるといふことである、アベンド氏の退去を拒絶すべきは勿論であつて或は電信規約違反を理由として國民政府に抗議することにならうと豫期されてゐる。しかしニューヨーク、タイムスでは喧嘩は喧嘩として電信を差止められるのは苦痛であるから自發的に北平電信員を更えるかも知れないといふことである。本事件は單に一社一人の問題でなく東支外國通信記者全體の職務遂行の保障に關する重大問題であつて我々日本人同業者に異常なセンセーションを與えつゝある。國民政府の言論壓迫を非難し米國政府とニューヨーク、タイムス社が強硬に出るやう希望する空氣は非常に濃厚になりつゝあるのである。

日本と提携希望

勞農側が局面打開の爲

【ハルビン十四日發電】ロシアは今や北滿より總退却の悲運に直面してゐるがこの局面打開の爲めには日本と或種の諒解を遂げることが賢明な策であるとの議論がロシア側に行はれてゐる

烏鐵との交渉中 宇佐美部長歸哈

【ハルビン十四日發電】滿鐵、東鐵、烏蘇里三鐵道間の連絡運輸につき烏蘇里鐵道首腦部と具體的交渉のため義にハバロフスクへ向つた宇佐美滿鐵鐵道部長の一行は支那側今回のクーデターにより東支に於ける露支勢力の均衡に根本的龜裂を來したので近く歸哈することゝなつた

米國の對滿投資希望を減殺

成行を注目する米國

【ワシントン十三日發電】ワシントン政府當局はハルビン事件につき目下深甚の注意を以て事態を解剖して研究して居り之に對し當局としての批評判斷を與ふることを避けてゐるが、急速な解決は困難なるべしと見ると同時に武力に愬へらるゝ如きことは豫想してゐない、而して「東支線に對する支那側今回の行動が果して治外法權撤廢問題に影響する處なかるべきや」との記者の質問に對し當局は之を是認することを避け只目下研究中であるとて駐米支那公使伍朝樞氏の覺書に對する回答を發すべき時日等に就いては何等暗示する處がなかつた、民間方面では最近東洋の平和時代を豫想してゐたが今や新なる此時局の緊張は東洋に於ける商業的繁榮の豫想を減退せしめ又間接には米國の資本を滿洲鐵道に投下せんとの希望を減殺する模樣である、而して東支線方面の平和は日本が決定的楔子たらんとは一般の信ずる處で支那もロシアも共に東支線の休止に依る損失に堪へ得ざるべしとは一般意見の一致する處である

陸軍の轉補

守備隊司令官に寺內中將

【東京十四日發電】陸軍定期異動は今月末か來月初めに發表さるべく大體內定してゐるが轉補の主なるもの左の如し

朝鮮軍司令官　大將　金谷範三
補軍事參議官(各通)　大將　岸本鹿太郎
參謀次長中將　南　次郎
補朝鮮軍司令官　近衛師團長中將　長谷川直敏
補東京警備司令官　教育總監部本部長　中將　林銑十郎
補近衛師團長　參謀本部附中將　松井石根
補第三師團長　陸軍省整備局長　中將　松木直亮
補第六師團長　陸軍省人事局長　中將　川島義之
補第十四師團長　第三師團司令部附　中將　烏谷　章
補第十九師團長　士官學校長中將　林　仙之
補教育總監部本部長　參謀本部總務部長
補參謀次長　中將　岡本連一郎
補獨立守備隊司令官　中將　寺內壽一
補陸軍士官學校長　中將　多門二郎
補參謀本部第二部長　中將　井染祿朗
補東京灣要塞司令官　參謀本部第二部長　中將　篠田次助
補參謀本部總務部長　二十九旅團長　少將　二宮治重
補陸軍大學校監事　航空本部總務部長　少將　牛島貞雄
補陸軍省整備局長　少將　小磯國昭
補航空本部附少將　小澤寅吉
補航空本部總務部長　第三十九旅團長　少將　中村孝太郎
補陸軍省人事局長　砲兵監部附少將　猪狩亮介
補野戰重砲兵第四旅團長　步兵第二旅團長　少將　古莊幹郎
補兵器本廠附　騎兵學校長少將　梅崎延太郎
補騎兵第一旅團長　騎兵第一旅團長　少將　柳川平助
補騎兵學校長　少將　武藤一彥
補騎兵第四旅團長　少將　植村東彥
補技術本部第一部長

日本人顧問採用を支那鐵道で禁止

契約は委員會の承認を要す 翟奉天首席の命令

【奉天特電十四日發】京奉鐵道技師長山領貞二氏が北陵鐵道問題につき鈴鱗生局長の常規を逸せる言動により辭意を表明せることは既報の通りであるが支那側の反日氣分は內治外交の根幹をなすものとみられてゐる、即ち翟省首席は各鐵道局長に對し日本側との契約はその大少を論ぜず交通委員會の承認を求めざれば無効なるを通達せるが今回は又日本人の顧問其他の採用禁止を暗示する命令を北寧、瀋海、吉長、洮昂、吉會、打通の各鐵道局に發した

士官學校卒業の支那留學生多數

日支關係に好影響

【東京十四日發電】陸軍士官學校第二十期の將校の卵が巣立するが其內支那の留學生が本年は百八十名もゐる、一昨年は八名今年は僅に二十四名、昨年は正に空前の多數で而も其內優等生が八名も居り夫々軍刀や銀盃を贈られる筈、この百八十名の學生中八十名は國民革命軍中蒋介石派の者と反蒋派の者と半々で更に奉天派四十名、五十名は無所屬であるが此等呉越同舟の學生連も留學中は何れも親密で愉快な生活を同じ兵舍に送り日本の狀態も良く諒解して將來の日支關係に少からぬ好影響を齎すものと觀られてゐる、十三日は卒業式を目前に休暇となつたので留學生達は午後五時から富士見軒に教官達を招待して盛大な謝恩會を開いた、之等の學生中には本國で將官、縣知事、税關長等を勤めた者がゐると

蔣氏一行歸寧

【南京十四日發電】蒋介石氏は十四日午前七時半宋美齡夫人、內政部長趙戴文、熊式毅兩氏以下隨員二十餘名、衛兵八百餘名と浦口着嚴重な警戒裡に軍艦で渡江し八時半官邸に入り直に胡漢民、戴天仇、孫科氏等に北平巨頭會議の結果を報告し西北問題其他當面の重要問題につき討議した

蔣氏の時局談

【南京十四日發電】北平より歸來した蔣介石氏は語る 時局和平解決の大體の處置は決つたが第二、第三集團軍編遣は閻錫山氏が全責任を負ふことゝなつた、詳細の處置は編遣委員會の決定を待ち實行に着手する筈である、尚今後は人材を中央に集中する積りである、馮玉祥氏が前途を思ひ其政權兵權を棄てゝ呉れた事は何よりだつた、勿論將來何人と雖も個人主義觀念は打倒せねばならぬ治國平天下の道は茲に在る

將來の保證を得海軍側讓歩せん

補助艦新規補充計畫

【東京十四日發電】海軍當局は補助艦の新規補充計畫を明年度以降の豫算に繼續費として計上すべく慎重研究中である、即ち海軍當局は今年度に於ける建艦費の一般財政壓迫を避ける爲め明年度以降五ケ年計畫約四億圓の補充艦新補充計畫を目論見つゝあるものにして政府及び大藏省が金解禁の爲め如何なる新規計畫をも認ぬとの一般施政要綱を固執するに於ては海軍側は將來の建艦財源につき確たる保證を得て讓歩する外なしと觀られてゐる

張學良氏は來廿一日頃歸奉

目下北戴河て靜養中

【奉天特電十四日發】張學良氏の歸奉に就ては十四、五日頃と言ひ或は途中奉軍の檢閲を爲しつゝ歸奉するため遲れると言ひ更に又東鐵問題發生の際とて至急歸奉すべしと傳へられてゐるが今十四日朝北戴河より歸奉せる于珍兵官公署顧問の直話によれば張氏は目下夫人と共に同地にあり約一週間滯在の後歸奉の筈で着奉期は廿一日頃であると

山本滿鐵總裁は來る廿一日歸任

今月中に上京して辭職

【東京十四日發電】山本滿鐵總裁は拓務省との折衝も一段落を告げたので十七日東京發十八日神戸出帆のうらる丸に乘船廿一日着連に決した、尚歸社の上は事務整理の後、大連奉天其他二三ケ所に最寄社員を集めて離別の挨拶をなし今月中に上京し正式に辭職する豫定である

濱口首相の車中談

【鎌倉十四日發電】濱口首相は十三日午後五時五十七分新橋驛發列車で鎌倉の別邸に赴いたが車中左の如く語つた

今日園公を訪問したのは組閣以來今日迄の施政經過について種々報告諒解を求めただけである 株式暴落の原因は十二日取引所で爲した井上藏相の演説に原因してゐるもの丶如く云ふものもあるが原因は別に在ると思ふ、政府は何故斯く恐怖してゐるか諒解に苦しむ處である、本年度實行豫算は本月中に纏める方針である、軍事費節約に就ては陸軍、大藏兩省間に折衝中で海軍々縮に就ては外務海軍兩當局で原案作成中であるから出來次第閣議に附議決定する、金解禁時期を明示せよとの議論もあるが今から明示することは出來ない 議會解散說は新聞が唱へてゐるだけで與黨から政府に進言した事はない、之に對する政府の態度は言明の限りでない

新潟醫大生歡迎會

新潟醫科大學滿鮮旅行團の學生二十名は中村主事並に配屬將校と共に十五日午前七時二十分大連驛到着、旅大見學を終り十七日あめりか丸にて出帆の豫定で在連新潟縣人會は十五日午後六時半より泰華樓にて歡迎會開催會費一圓五十錢

安樂椅子

フーヴァー大統領との選擧戰に一敗地に塗れた民主黨のアル、スミス氏その後保險會社の重役に收まりかへつて陽氣な生活を送つて居るが近頃例の自叙傳に夢中の態である▲自叙傳の名は「我が半生の記」とか「名前はスミス」とかいろ〳〵案もあつたが愈 最近「今日に至る迄」と題することに決定した▲スミス氏興味が乘つて近頃毎日書くのが五千語は下らぬといふが本屋との契約では一語一弗とあるから少くとも一日五千弗の內職をすることとな[illegible]

國際赤色デーを期し 上海で總罷業計畫

共産黨員氣勢を煽り逮捕さるスローガンに東鐵問題も含む 憂慮さる八月一日

【上海特電十四日發】昨年モスコーで開かれた共産國際第六次世界大會にて各國共産黨は世界大戰反對、ソウエートロシア擁護、支那革命擁護のスローガンの下に國際赤色デーを擧行すべき事を

決議 したるに基き共産國際は八月一日を國際赤色デーに決定し各國共産黨に通告したる結果支那共産黨に於ては八月一日全上海に亘つてゼネラルストライキを行すべく秘密裡に準備しつゝあるが共産黨側では第一回赤色デーをなし國際赤色デー大示威運動を決行すべく秘密裡に準備しつゝある華々しからしむべく非常な意氣込みでかゝつてゐる模樣で當日は一が今朝十時百名許りの共産黨員は當地ゴルドン路にて演説及ビラで國際赤色デー宣傳を試み黨員廿名警察の手に捕へられた租界當局及び支那側官憲は赤色デーに對して嚴重

取締 るべく準備怠りない騷動持ち上りはせぬかと憂慮されてゐる、尚は今回の示威運動のスローガン中には東支鐵道問題紛糾の折柄ソウエートロシア擁護の外反革命國民政府の東鐵回收反對、露支勞働者は聯合して帝國主義及び支那軍閥の東鐵侵略に反對せよ等もある

大西洋横斷 飛行競爭 一機は途中中止

【ルブールヂエ十三日發電】ポーランド飛行家イチコウスキ少佐、クバラ少佐搭乘のピースズキ元帥號とフランス飛行家コスト、ベロント氏搭乘のクエスチョンマーク號は共に今朝大西洋横斷飛行競爭のため前者は午前四時四十五分、後者は午前五時二十七分に出發した、兩機共針路をアゾレス島に採り、午後四時前者は同群島東北洋上に在つて引續き飛行中であるが後者は午後七時前機が午後四時頃通過した地點近くを通過した後飛行を中止して出發地に歸還中なる旨報して來た

石碑嶺暴行事件 支那側謝罪 但し軍隊の暴行否認

【長春特電十四日發】石碑嶺炭礦軌道附屬地における支那兵暴行事件に關して長春警察署から嚴重抗議したので十四日支那側代表は長春警察署を訪ひ陳謝したが、事件當時日本官憲が馳せつけた時には暴行兵が逃亡した後で現行犯を押へなかつたのを幸ひに日本人を毆打したのは地方暴民で軍人は一二名交つてゐたに過ぎぬと言を左右にして軍隊の暴行を否認し誠意が無いので當局は滿鐵側の調査濟み次第再び永井領事より正式に嚴重抗議する筈、尚事件の原因となつた通行人の負傷は母指及び倒れた時に受けた側背部の擦過傷であるが後日問題の殘るを慮て日本側で逸早く同人を滿鐵醫院に入院させ手當を加へたので既に殆ど全快している

福島の酷暑 百度を突破 馬車馬が斃死

【福島十四日發電】連日酷暑に惱まされてゐる福島地方は十四日に至り午後二時半百度を突破し炎熱の爲め馬車馬の斃死するもの數頭に達した

排日空氣險惡に 興安嶺行を延期 中等教員植物採集團

【哈爾賓特電十四日發】黒龍江省當局は目下日支間に緊爭中の東支西部線イルクテの札免公司に對し立木税問題を口實にして同公司所有林區の回收を計り不穩な行動に出んとし公司側も亦必死の決心をもつてこれに對抗して險惡な空氣が漲つてゐるので同林區の植物採集に赴く豫定であつた滿洲中等教員から成る興安嶺博物分科會員二十名は當分出發を延期することになつたと

査せる結果遺書等皆無なるも同人は曾て西公園町附近に居住せしことある山岡重次郎と稱する者なることのみ漸く判明、所轄沙河口署では引續き同人の身許自殺原因等調査中

京城府内の學校關係者檢擧 また陰謀事件發覺か 西大門署で活動開始

【京城特電十四日發】西大門署では十三日未明より大活動を開始し府内臥龍洞、勸能洞、入牛洞、竹添等の各方面より高等普通學校教諭河尹實、女子商業學校の教諭申時徹外十數名を引致、絶對秘密裡に夜に入りて嚴重取調べ中である殿英の部下で去る三月廿二日の激戰に腹部へ貫通銃創を負はされ今日まで芝罘で療養中、藥代にも困る樣になつたのでモーゼル二號拳銃一挺(彈丸廿一發)を大連で賣り飛ばし奉天に行かうとしてゐた事を自白したので情狀を酌量し拳銃は沒收身柄は天津へ送還すると

毎年一小學校增さねば 兒童收容し切れぬ 恐ろしく殖ゆる州内の兒童

年々增加する關東州内の小學校兒童は昭和五年度に合計約一千三百餘名あり、之がために增築せねばならぬのは旅順に於ては第一及第二の兩小學校、大連では日本橋、大廣場、嶺前屯、常盤、早苗の各小學校に新に一校を建築せねば間に合はぬといふ始末であるが、關東廳學務課に各學校から要求して來た總數は三十學級增に對する訓導三十七名の增員となつてゐる、この勢ひで進めば年々小學校は一つ宛增さねばならぬので藤田學務課長も「之は自然膨脹によるので新規豫算として止むを得ず計上せねばならぬ」と語つてゐるが、公學堂方面も亦土佐町公學堂の增築と共に最近支那人間に子弟に對する向學熱が高まつて來たので六學級を最少限度として增級せねばならぬであらうと

寶塚對實業決勝戰 けふ午後四時=實業球場で

被檢擧者の多數が學校關係者なため最近頻發する迷宮事件の常習的策動者檢擧かと目さるゝも數名の〇〇〇〇主義者を含めるに徴して或は重大なる陰謀事件發覺かとも見らる、黒田高等主任は「犯罪事實は未定だが何か出るよ」と期するところあるらしき口吻を洩らしてゐる

婦人陸上競技 世界新記錄

【スタムフオードブリツヂ十三日發電】エム、イーキング孃は四百四十ヤードを五十九秒八分の一で走破し婦人の世界記錄を作つた、又エツチ、ハート孃は八十メートルハードルを十二秒五分の一で世界記錄を作つた

新鮮な果物の芳香は 七月の街の魅惑 このごろの標準値段

西瓜、メロン、まくわ瓜、李桃、櫻桃——水菓子屋の店頭から迸る清新な芳香は炎熱七月街頭の魅惑である、昨今大連市に於ける果實類の標準値を御市場にきいて見る

西瓜一貫目一圓五錢から一圓二十五錢位、桃は内地もの一貫目最高二圓二十錢、産地及品質によつては八十錢位のもある、櫻桃は四圓内外から六圓見當、まくわ瓜天津もの青、黄突込み平均一個六錢乃至八錢と云ふところ、臺灣産バナナは最も子供に喜ばれる代りに疫痢、チブス等の誘因となる場合が頗る多いとあつて夏季中減切り需用が少ないので、一時素晴らしい勢で輸入されてゐたのが最近めつきり減少したと

昇汞をのんだ男絶命す

十三日午後十一時過ぎ星ケ浦公園内廿八號別莊附近で昇汞を嚥下して自殺を計つた男は直に附近竹川醫師の應急手當を受けて大連慈惠病院に入院したが既に手遲れとなり十四日午前一時過ぎ遂に死亡した、風體は一見會社員らしく推定年齡五十歳位にて所持品其他を調

レーニンの遺骸を移す

【モスコー十三日發電】レーニンの遺骸は本日レツド、スクエアからクレムリン宮殿に移された、レツドスクエアのレーニン陵修理の終る迄クレムリンに假安置される筈である

憐れな一家へ

沙河口元町七六安藤採八に對し十三日大連檢番藝妓與市、小萬の兩名は各一圓宛、同梅幸は二圓および松下トシ子一圓、磐城町待合扇家五圓、同家女中一同十圓のそれ〲寄贈があつた

大連勢奮闘して三年目に雪辱す 土砂降り中に物凄い競射 全滿クレー射擊大會

滿洲子に於ける昭和四年度全滿クレー射擊大會は十四日午前八時射場に集合同十時より志和、大友、赤松(奉天)松岡、辻、南里(大連)明石(安東)の七氏審判の下に抽籤に依る大連間山氏(弟)の第一射に依るA部(一個射)より開始し午後一時半大連兼頭四十點、安東平間三十點、大連林、久保田、豆塚各二十八點、大連安藤、奉天赤松各二十六點、大連吉田、尾原、奉天長山各二十四點と云ふ大連に取り非常な好成績を以てA部を終り晝食後二時より引續きB部(二個射)を開始し、戰ひ終らざるに豪雨となり而も大連側主將兼頭、奉天側主將大友各十六點を獲得した爲め土砂降る雨の中に物凄い競射を演ずるに至り、一回は各得點なく二回目に兼頭二點を入れ大友零敗に終り遂に山本滿鐵總裁の優勝盃は大連軍に歸し、又AB合計點の伏見宮殿下御下賜盃も三年目に漸く大連軍に獲得されたが、この殊勳は兼頭選手の五十六點といふズバ拔けた得點による、因に兩部合計の得點及優勝者は左の十名で午後四時豪雨の内に終了し同五時より射擊閣で大親睦會を開いた

△一等兼頭清市(大連)五十六點△二等久保田源次郎(大連)四十二點△三等林萬九(大連)四十二點△四等平間濡(安東)四十點△五等安藤忍(大連)四十點△六等赤松慶太(奉天)四十點△七等豆塚虎次(大連)三十六點△八等大友啓三郎(奉天)三十六點△九等吉田竹三郎(大連)三十四點△十等長山◇(奉天)三十二點

朝鮮軍の猛襲に 滿鐵軍全敗 きのふの軟球庭球戰

十四日の全朝鮮對全滿鐵軟式庭球戰は朝來の雨のため遲れ午後二時三十分より大連北公園滿鐵コートにて擧行された、コートのコンディション良くなかつたが久し振りの好取組に觀衆はコートの四圍を埋め此の日の朝鮮軍にコート馴れの利あれば滿鐵軍は遠く撫順、鞍山、遼陽より各大將組を招きて必勝を期し戰前既に殺氣場に滿つ。第一回戰滿倶六勝三敗の成績に萬丈の氣を吐きしも第二回戰には朝鮮軍の三組に完全に打たれて全敗し遂に敗戰の恨みを呑む時に六時四十分

▽一回戰 朝鮮 滿鐵

村上・横田 一—四 川久保・高木
中川・渡邊 四—〇 大高・片山(鞍山)
洪・孫 四—一 鹿野・下軍木
金剛・野 二—四 臼井・岡
永沼・秋山 一—四 北川・田川(遼陽)
張・鄭 四—二 齋藤・大石
劉元・張 二—四 吉丸・川原
鍵谷・中川 一—四 原・石井(撫順)

▽二回戰

中川・渡邊 四—〇 川久保・高木
洪・孫 四—二 臼井・岡
張・鄭 四—一 北川・田川
中川・渡邊 四—一 吉丸・川原
洪・孫 四—二 原・石井
張・鄭 四—〇 大關・谷串
黄・吉村 三—四 大關・谷串

黄組對齋藤組は兩軍共に固くなりて最後まで當らず期待したプレーも見ずして滿鐵凡退△黄組對大串組は此日唯一の接戰、黄と關谷の當りは實に物凄かつたが七セツトに至りて兩人當らず吉村大串に當り現はれチユースを繰返す九回吉村の失に朝鮮遂に恨みを呑む

洪組對原組、最初石井のストツプボレーより當りて二セツトを得しも其後朝鮮軍石井を避け孫のスマツシユまた入りて二オール石井の當り止まり孫愈當りて朝鮮快勝△中川組對吉丸組中川組猛烈に當りて文句無しに勝ち△張組對大串組は朝鮮軍最初より大膽に強引に打ちまくり張の剛球は鄭の活躍を自由にして其儘に押し切る△今日のゲームを見るのに朝鮮は前衛の守備範圍廣く又前後衛の連絡にも一日の長あり殊に練習が十分に足りてあつた、中でも昨年度神宮競技大會の優勝者中川組全朝鮮の優勝者張組の確實な鐵砲球と前衛のスマツシユは實に驚嘆すべきものがあつた、大石組に日頃の當りのなかつたのは滿鐵軍の敗因ともなつたか

對全大連戰 けふ擧行

全朝鮮對全大連最後の試合は同コートに於て十五日午後三時より擧行される

デ杯戰歐洲決勝

【ベルリン十三日發電】獨逸對英國のデ杯戰歐洲ゾーン決勝戰は本日ダブルス試合を行ひ左の如く英國勝ち獨逸二勝英國一勝の成績となつた

コリンス グレゴリー(英) 六—四 六—二 六—〇 二—六 ランドマン クラインス ロート(獨)

大商倶軍勝つ

大商クラブ對大連商業野球戰は十四日午後四時より滿倶球場にて商業の先攻にて擧行クラブ軍は四回に三點六回に二點を入れたるも商業軍は一回四點七回一點九回一點と徐々に得點し六對五にて勝つ球審大村、壘審東メンバー左の如し

商 大 倶 大
藤石田口村本藤永田 因白飯谷松梅工德原 投捕一二三遊左中右 松岡山原場木藤正田(井) 小片川松馬鈴大宗清

擧動不審の負傷兵

十三日早朝芝罘より入港の福壽丸船客中擧動不審の一支人が居るのを臨檢の水上署員が引捕へ取調べると同人は直隷省軍孫元良麾下七

けふのラヂオ

昭和四年七月十五日(月曜日)
自午前十一時 相場(特産、錢鈔、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニユース
自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後三時五十分 野球連絡放送(實業對寶塚決勝戰)
自午後七時三十分
一、ニユース
二、露語講座 第十二課 大連語學校 グロースマン
三、三曲 まゝの川 三味線富森大檢校、琴宮森よしゑ、同上田猛、尺八牟田鷗風
四、義太夫 伊賀越道中双六 沼津の段 太夫大西巴、三味線竹本旭勝
五、音曲萬歳 福樂キートン、立花家秀香
六、料理獻立
七、天氣豫報

夏の果物店

滿日地方版

安東

支那船舶が鮮地江岸に碇泊

越境の馬賊に備へる

鴨緑江を航行する日支船舶は夜間各自領即ち日鮮船舶は鮮地江岸支那船舶は對岸の支那側江岸に碇泊する事になつてゐるが、最近馬賊の出沒旺盛の爲支那官憲にては昨年の馬賊團の鮮地襲撃事件に鑑みつて居るが今回日本側の諒解を得江岸一帶に亘り警備力の充實を計て滿浦鎭上流なる鴨緑江航行の自國船に對し夜間は鮮地江岸へ碇泊すべく嚴命を下し同時に之に違反するものは船舶を沒收する事とし船舶を利用して馬賊の越江鮮地襲撃を豫め防止し馬賊事件に依る國際問題の惹起を未然に防がんとする手段を講した此の方法は支那側としては妙を得た策であると見られてゐるが爲め目下支那側江岸は夜間一隻の船影すら認めず之に引替へ鮮地江岸は日支船舶

旅客列車發車間際に同列車三等車内で販賣員及び坑ボーイの擧動が不審であるため警官が之に飛び乘つた處彼等は枕袋を車内に置いたまゝ姿を晦ましたがその袋の中から阿片一包(一貫三百匁)が飛出したのでその筋では阿片密賣常習犯と睨み目下犯人嚴探中である

忠靈塔の盆祭

奉天忠靈塔の盆祭は十三日午前十時から忠靈塔前に於て施行された森島領事、乾署長、稲岡所長代理、守田民會長、末光議長その他五十餘名の參列者あり市内各寺より七名の僧侶から讀經があり十時半嚴かに式を閉ぢられたそれより共同墓地にて同様盆祭を執行したが一方葬齋場にては午前九時から各宗派多數にて盂蘭盆會をかね施餓鬼會を營み參加者多數にて盛會であつた

開原

開原驛ホーム地下道地鎭祭

開原新驛舍工事は順調に進捗しつゝあるが今回ホームと中ホームとの連絡地下道工事は福井高梨組の請負にて着工さるゝ事となり十三日午後五時莊嚴なる地鎭祭を執行し式後關係者及び有志を二葉に請じ祝宴を催した、因に該地下道は新驛舍の改札口と收札口との中心に當ると尚又ホーム上屋工事も近日着手の豫定であると

新踏切道路

開原驛移轉に伴ひ鐵道西に通ずる現在の踏切りは閉鎖され普通學校と小出庫との北側に新たに平安街を開通し線路を踏切る筈にて目下平安街新道路開通工事中である

人事

▲三宅關東軍參謀長 十三日朝周水子より來奉
▲中西滿鐵地方課長 十三日朝來奉
▲周培炳氏(四洮鐵路局長) 十二日四平街より來奉
▲安藤奉天高女校長 十二日安奉線にて内地へ

奉天

拓殖鐵道問題

上京して陳情

新内閣の極度の緊縮方針の爲め鐵道局にて來年度豫算に計上實現すべく計畫中の國境拓殖鐵道問題も一大難關に逢着し中止の上は國境産業開發上赤國防計畫上にも不利を招致するので新義州商業會議所にては十一日緊急役員會を開催し善後策に就いて講究をなし尚此外前途楽觀を許さゞる製鋼所問題に就いても腹藏なき意見の交換を行ひ協議の結果十二日夜加藤會頭上京の上各關係方面に折衝陳情なす事となつた

鞍山

鞍山經濟研究會愈あす創立總會

鞍山經濟研究會設立第二回準備委員會は十三日午後一時から實業會堂に於て開催、出席委員は石川委員長外十八名にて會員募集の件及び今後の方針に就て議を凝らし、更に十六日午後七時から實業會堂に於て創立總會を開いて愈活動の本舞臺に入る事となつたが、同會の設立趣意並に會則は左の通りである

設立趣意

吾鞍山は滿洲に於ける各都市中吾々日本人によりて創開せられた唯一の名譽ある都市である、從而榮えて日本人の先見の明を世界に誇るか衰へて粗忽者として笑はれるか吾々在住邦人には重き責任を負はされて居る土地である

製鐵所の建設に伴ひ人口十萬を目標として市街計畫成るや大正八年四方翕然として來り集り莽年ならずして原野變じて現在の鞍山市街を形成したるものとす當時の狀勢は寔に人氣の洪水襲來的觀を呈したりしが一朝歐洲大戰熄み早くも芽せし經濟恐慌は忽ち製鐵所の百萬噸計畫を挫折せしめて方向に運ばせ市民の大半亦空しく不動產を逗留した る儘離散し爾來八年殘留市民は土を嚙みつゝ苦境に耐へて今日に至りしものとす、思へば建設當時の壯觀、理想は權花一朝の夢物語りに過ぎざりしが、空家壘々廢墟の如く沈める年月の何ぞ長かりしや、自ら建設せし鞍山市民の胸中は只未練の淚ありしのみ

然るに當局の努力に依り昨年末製鐵所の方針轉換に決し引續き銑鋼一貫作業も確立となりしが偶然鐵礦業は他地方に移さるゝ事となり市民は一縷の緒を絕たれ又街悲境に陷るの已むなきに至れり、顧ふに製鐵所の方針如何は當市の消長に影響する處最も甚大なるを以て之れが發展を當局の努力に俟つは勿論なるも退て考ふるに吾等市民は尙は所在方面に亘り經濟的研究を爲し此の悲境の打開を策する必要なるを切實に認むるものなり故に之れが實行に就ては各方面の智識に依り資料を蒐集し以て鞍山將來の振興を策する爲め本會を組織するものなるが故に當地在住の士は職を官に在るものと社に在るものとを問はず此の趣旨に賛し本會に加り以つて鞍山振興の爲め一臂の力を賜はらん事を冀望する次第なり

會則

第一條 本會は鞍山經濟研究會と稱す

第二條 本會は鞍山に在住する日本人世帶主を以て組織す

第三條 本會は鞍山の經濟的振興を策する爲め各般の經濟事項に付き調查研究を爲すを以て目的とす

第四條 本會は鞍山に存在する經濟關係の各團體を後援し本會の調查研究に依る資料を提供するものとす

第五條 本會に左の役員を置く役員は名譽職とし無報酬とす顧問(員數を限らず)

會長	一名
副會長	二名
評議員	若干名
幹事	三名

顧問は本會を翼贊す

會長は本會を代表し會務を統理し顧問を推薦し會議の議長となる

副會長は會長を補佐し會長事故あるときは其職務を代理す評議員は會務を審議す

幹事は庶務會計を處理す

第六條 評議員は總會に於て之を選擧し會長副會長は評議員中より互選す

幹事は會長之れを指命す

第七條 役員の任期は滿二ケ年とす(但し再選を妨げず)

第八條 本會の目的遂行上必要に應じ會長は役員會の協議に基き委員會を設置し委員を任命することを得

第九條 本會は會員より會費を徵收せず寄附金を以て經費を支辨するものとす

附則

第十條 本會は當分の内事務所を鞍山實業會堂内に置く

第十一條 本會の總會開會通知は特に必要ある場合の外各新聞紙の記事廣告を以て通知に代ゆることを得

「金剛呪門」の活動寫眞會

本紙連載小說金剛呪門の活動寫眞大會は鞍山支局の後援で十六、十七の兩夜演藝館に於て開催する事となつた

雅樂部役員會

鞍山神社雅樂部では十五日午後七時から社務所に於て役員會を開き顧問推薦の件、其の他に就て協議する由

人事

▲加藤政人氏(實業協會長) 都市金融組合設立の要務を帶び十二日の急行で赴旅十五日歸鞍の豫定

長春

商議復活の準備着々として進む

實行委員七名を決定

長春商議復活に關する第二回協議會は十三日午後一時半から地方事務所に於て開催、出席者は土肥、彼末、栗原、古田、大島、前田、平塚、久末、今井、二階堂、石崎、石田、玉柏、釘宮、丸山、梅原、柴田、奧平、山中、岡田

で先づ彼末起草委員長より委員會の決定事項を報告し逐條審議し

一、商議存續に關する件(存續に決定)

二、重要組合代表者を議員に推す の件(組合の選定及び代表者の解釋について押問答あり、結局議員選擧の方法と見做すに決定)

三、議員定數に關する件(三十名に決定)

四、會費負擔の制限に關る件すで公費を大體の標準としその二割五分見當にて査定委員會が決定す、但し最低會費年額六圓とす

五、級別選擧制可否の件(委員會通り不必要と認む)

六、理事互選の件(委員會決定通り過半數の得票を必要とす

七、常議員制の復活、會計監事設置の可否(議員數の五分一の常議員及び監事二名を置くに決定)

次で實行委員の選出に移り、銓衡委員として山中、栗原、石崎三氏を土肥議長から指名、銓衡委員は別室に於て審議の結果、左の七名を指名し午後三時半閉會した

久末、岡田、彼末、釘宮、今井、手塚、前田

尚閉會後に實行委員會を開き移り委員長として彼末氏を推すことゝなり次回は十六日ヤマトホテルに於て開催することに決定した

鐵嶺

滿鐵浴場料金値上協議

滿鐵浴場では經營の收支償はざるため料金若干の値上げ案を樹てたが十五日午後一時から地方事務所に於て各關係者を招集協議會を開くと

集配時間變更

滿鐵列車の時刻變更に伴ひ郵便局でも集配時間の變更の必要あり左の如く十五日から變更實施すると

▲市中取集(局出發時刻) 一號便午前七時、二號便午前十時三十五分、三號便午後三時三十分、四號便午後七時三十分、五號便午後十時

▲市中配達(局出發) 一號便午前七時、二號便午前九時四十分、三號便午後五時四十分

安西順三郎氏

敷島町歯科業安西順三郎氏は豫て病氣中の處十三日午後三時二十五分遂に長逝した、享年四十八、葬儀は十四日午後四時共同葬齋場に於て神式を以て執行された

旅順

旅順管内の金融概況

六月中の分

旅順管内に於ける六月中の金融概況は漁業方面の盛況と端午節手當としての食料雜穀類需要増加せしとにて市場活況を呈し殊に山東地方

農作物

の蟲害並に旱魃とを傳へて同方面への輸送品としての雜穀類の需要旺盛なりし爲め當日中華商側の原料仕入れは前月に比し頗る活潑を極めた、先づ小麥粉の五千四百袋を筆頭に粟七百袋、包米五百石、粟高粱各二百五十石等悉く前月に比し到着增加を示し相場は銀安にも拘らず奧地方面旱天續きの爲め需要激增と に依り小麥粉挽場の保合を除くの外粟は一袋五十錢方高粱は一石一圓四、五十錢見當其他諸雜穀類何れも夫々騰貴を示した、次に建築業界を見るに今年は官廳側の諸工事入札は主として奧地方面を先にした爲め旅順としては纏まりたる請負無く從つて是が材料たる

木材も

百七、八十噸の入荷があつたのみで特筆するに足らず、例年稀に見る閑散狀態を以て推移した

鹽業市況は當月に入つて天候殊に良好であつた爲め生產順調に行はれ前月の生產不良を回復する處があつたが州内多量の在庫品あるに拘らず輸出期待に添はない爲め商況依然として不活潑を免れず、月末相場本船乘百斤見當三十八、九錢で前月同樣であつた

一般の商況が前記の如くにして華商側の雜穀買付資金並に端午節期の決濟資金の需要旺盛を見るべきものあり、此の方面の金融小繁を呈したが、其の他の方面閑散無異にして終始したが、各市場至極平穩なる半期決濟を了つた

遼陽

區名變更を要望

區民間に問題起らん

遼陽附屬地第四區在住生田、西、佐々野、杉木の四氏は十二日午前見坊地方事務所長を訪問して附屬地の區名が地理的に不適當であるといふ理由でその變更方を要望したが、未だ住民の諒解もなく單に前記四氏の希望に過ぎず且區名變更は第四區のみの問題に非ずとして相當の議論が出るであらうと想像せられてゐる

縣參事會法案

遼寧省政府から遼陽縣政府への通達に依れば省内各縣に縣參事會を設けて縣政治の助長機關となす方針に付速かに組織せよと其の要綱は左の如し

▲縣參事會は縣長、縣政府各科長及局長を以て組織す▲縣内居住民の選擧したる議員▲每年定例會議開催▲議決事項は縣費の豫算決算縣公債募集償還に關する事項▲議長は縣長を以て充つ

以下省略

プールで溺死

遼陽本町陶器商鈴木鍵之助の義弟辻新七(三)は十二日午後一時十分白塔公園後方のプールで溺死した

公休日

▲十二日の旅順署員射擊會で飛入り加入の瀧署長▲右の眼が惡くて照準が狂ふと許り變な恰好で左射擊▲それでもまんまと二十八點射當てたが▲一等賞は之も飛入りの西内高等主任にせしめられ▲鬱憤やる方なしの表情▲「西内君はアノ通りの體格だもの、握りがイ、から當るのさ」▲當の御本人西内君は素知らぬ顏で熊が鐵砲を抱へ込んだ體よろしくズドン〳〵

撫順

全炭礦選炭會議

撫炭品質向上策協議

撫順全炭礦選炭會議は十二日中央事務所會議室で行はれた

伊東調査役、渡邊運輸事務所長、平瀨石炭係主任、各坑の選炭主任並びに各班長、本社販賣課岩田調査主任、大藤地質主任、柴田計畫係員等列席、議題は

過般一ケ月間の選炭デーに依る實績を基準として選炭法の機械化と選炭機の増設問題、夜間選炭時の照明燈の改善、大連、甘井子等の積出港に於ける隨時炭質監査等頗る多岐に亘るが要するに四季を通じて過般の選炭デー當日の如き努力と各機關の協力一致を以て一時的でなく恒久的に撫炭の理想化を計るべく協議された譯で前記の内積出港に於ける炭質檢査、各選炭場の照明改善の如き直に實行し得る性質のものは十三日より卽行する事とした

二巡査狙擊犯人四年目に捕はる

十二日夜大官屯にて

十二日午後六時大官屯に於て撫順署員が山東省泰安府生れ現住所不定、强盜傷害前科入犯楊永緒(三一)大直隷生れ武清來(三一)を逮捕した、右は豫て撫順荒しの犯人として捜査中の者で楊は大正十五年大官橋强盜事件の際金泰德(臺灣人)大津兩巡査を狙擊重傷を負はせ逃走約一ケ月前撫順に舞戻り四年目で逮捕されたものである

今年度の水泳大會

豫定決る

奉天水泳界では今年は大活躍を試みるため大體左の如きプランで猛練習を續けてゐる

▲七月廿一日奉天選手權大會▲參加チームは長春、撫順、奉天、鐵嶺、四平街、遼綏聯合、安東▲競技種目は五十、百、二百、四百、千五百、百バック、二百ブレー、四百リレー、ダイビング▲八月中旬州内外對抗競技會開催競技種目は州外對抗競技と同じ

外交協會委員

打合せに赴平

遼寧省國民外交協會委員蘇尙達、閻玉衡の兩氏は目下滯平中の王正廷氏と排日問題に關し打合せのため十二日夜八時發の平奉線にて赴平した

枕袋に阿片

十三日午前九時安奉線上り第六號

大連將棋聯盟特選 滿日五人拔戰

(藤田君一回勝二回目)

(八ノ四)平手 先番初段 ▲藤田德藏 初段 △澤田賢太

(盤面以下の手順)

▲四五銀△同銀▲同桂△六二角▲六三歩△四四銀▲六四歩△同金▲四八飛△四六歩▲同角△五五歩▲二八角△四六歩▲同角△四二飛

戰の跡

三段 宮本金三

古來から何千、何萬と數知れぬ程の對局は行はれて居るだらうが、只の一局も、同じ手順の將棋は未だ一局も、ほんとに只の一局も見受けた事の無いのは、何を物語つて居るのだらう、僅か八十一格の盤面で四十の棋子を動かすだけだが、其變化に至つては變轉極り無く恐らく一局の變化數手を數へて尚足りないだらうと思ふ、其難解な將棋を私如き凡庸が拙劣なる觀戰記を書き、含まれたる手順を說くの僭越さを顧みて汗顏に堪へない事が間々ある。時に記して誤評ありて時の寬容を乞ふ次第……

◇ ◇

大駒の捌きを含んで、二四歩、同歩と取らせた處で第三局が終つてました、其意味を續けて藤田君、四五銀之れは同銀の一手同桂、六二角と引かせ、六五歩攻擊手筋として推賞にあたひする、併し次の六四歩、同金の時四八飛は面白くない、此處は九七角と出て敵金に當てる方總ての順が宜かつた此好手を逸したのは如何にしても惜しい……、澤田君が四六歩一石能く二鳥を打つの類、次の四六同角の時、四二飛は恐らく誤算でせう、此處四五銀と桂を利して決して局面は惡化しないと思ふ。昔日理居る「初段二段組の勝敗は、惡手の多い方が負となる、三段から五段位になると僅か一手の惡手を咎められて負けになる、達人名人は、只先の位に依つて勝敗が決する……と」

愛慾の窓 (39)

戶川貞雄作 淺枝次朗畫

生活の淵(一九)

「……姉さん！送つて上げよう」

龍吉と美知子とは、やがて明るい街へ出ると、通りかゝりの圓タクを拾つて飛び乘つた。

「……お前も家へ歸るんぢやないの？ えゝ？ 龍吉、一緖に歸つてくんない？ わたし會ひたかつたわ……」

と、龍吉は無邪氣な少年らしく云つて微笑んだ。

美知子は泣き笑ひに似た表情で頰の筋肉をひきつらせてゐた。

今は彼女の氣持も、龍吉の救ひをはつきりと感じないではゐられない狀態におちついてゐた。若し龍吉がひよつこりと現れて來なかつたら！

彼女は、ぞつと身柱元に戰慄を感じた。

「……あら、そんなつもりで云つてるんぢやアないわ、たゞわたしもう明日から職を失ふのが辛くて……ね」

「……明日から勤めに出ないつもりなんだね、姉さん、そりやアいけないよ！ それぢやあ僕の姉さんに對してしたことが無駄になるぢやないや、佛つくつて魂入れずといふかな……それともよけいなおせつかいをしたことになるかな？ ほつとけば姉さんは小森に、弄ばれて、弄ばれてゐる間だけは、すくなくとも生活の保障だけは得られるわけだつたが、しかし姉さんそれぢやあ生きてゆく苦みが足りないんだぜ！ 闘ふんだ！ 小森なんて奴に負けてゐないで、闘ふんだよ！ 平氣な顏をして、明日も勤めに出るのさ！ なに極りの惡いのはだが、然しもうこれですべては終つたのだ、わたしはもう明日からあの社へは出られなくなつた！ さう思ふと、深い佗しさが胸に迫りと黑い口をあけてゐるのだ。飛び込むには、覺悟が要るのだ。第一の場合は危ふく免れたけれども第二、第三、第四と、女の身で生活の淵に身を投ずる限りは、はてしない危險を覺悟しなければならない……。

「……龍吉、あのね」

「……何ですか、姉さん！」

「……お前は何うして生活してゐるの？」

「はゝ、何だ、そんなことか！」

と、龍吉は事もなげに笑つた。

「……そんなことかツてお前、わたし勤めに出るやうになつてはじめて、生活といふことが考へにのぼつて來るやうになつたのよ、尤もそれまでは家も困りはしなかつたのだけれど……」

「……姉さんのさういふ氣持は僕にもわかるよ、僕はすまないと思ふよ、姉さんにだけはほんとに申譯ないと思ふよ、姉さんに生活のことなんか心配させるやうになつた因はといへばみんな僕が惡いん

向ふだか、向ふは向ふで平氣な顏をしてゐるにきまつてらあ！」

「……そんな厚顏ましい氣持にはわたしなれないわ！ わたしさつぱりと罷めちまふ！」

「フム……それもいゝだらう、しかしそんならそれで、僕は明日にも姉さんの辭表を小森の顏へ叩きつけに行つてやる！ それも多少は痛快だな、僕に辭表を任せてくれるだらうね、姉さん！」

「……お願ひするわ、でもあまり亂暴な眞似はしないでね」

「……大丈夫だよ！ たゞそれに値するだけのことをしてやるきりさ！ ほらお父さんもお說敎するぢやアないか、齒にて齒を、眼にて眼を……はゝ、ちがうかな」

親げに語りつゞけてゐる姉弟を乘せた自動車が、やがて牛込の俗に幽靈坂と呼ばれてゐる坂下へかゝつた時、龍吉は運轉手に聲をかけた。

「……おい！ ストップ！」

新刊紹介

▲印文學(第五篇) 前田默鳳編著 第四篇までを以て字引篇を終り本篇は終篇として和漢古印譜及で印文學講話を載す、大和古印七十一顆、支那古近印約二百顆を朱印し百頁に亘る印譜と講話は文字の創造より刀法に及び篆刻刀法の心法を闡明して餘蘊なし(東京芝二本榎西町二三圭社發行價三圓五十錢)

▲川柳人(七月號) 東京市外杉並町馬橋原五四七柳樽寺川柳社(定價三十五錢)

▲新天地(七月號) 大連市楠町七十四新天地社 定價三十錢)

▲映畫是非(七月號) 東京市麻布區三河臺町十三番地第八書房(定價二十錢)

▲解剖(七月號) 大阪市北區堂島ビルデイン解剖社(定價四十錢)

▲螢雪(七月號) 大連語學校

▲明治大正實話全集 第九卷第三回配本義理人情實話として英吉利村八軍、田中大將と從卒今井情の原敬、絆の後藤新平、外十八篇を收む(四六版布裝六三四頁東京市麴町區下六番町十平凡社)

▲矛盾(七月號) 東京市小石川區林町四三矛盾社(定價十錢)

▲二大漢籍純字解第二卷(桂湖村敎敎講述) 本著は史記の十表八書を評解したものである、十表は十種の年表で史上の綱要を一目瞭然たらしめたものである八書は禮書樂書律書、曆書、天宮書、封禪書、河渠書、平準書の八種類であつて古代文化研究の重要資料である菊判五八八頁東京牛込早稻田大學出版部

▲島根評論(七月號) 東京市小石川區大原町十四番地島根評論社(定價三十五錢)

▲精神(七月號) 東京市外代々木山谷一〇八精神社(定價十八錢)

▲同仁(七月號 東京市神田區猿樂町十五番地同人會(定價廿五錢)

▲共存(七月號) 東京市豐多摩郡大久保百人町三一七番地新日本協會(定價二十五錢)

▲書店少年 七月號) 東京市麴町區下六番町十番地平凡社

▲子供之友(八月號) 東京市雜司ケ谷上り屋敷一一四八婦人之友社(定價廿五錢)

▲映畫敎育(七月號) 大阪市北區大阪每日新聞社(定價十錢)

七月川柳課題

七月十五日締切

〔偏風機〕 高橋月南選

◇用紙はがき必ず別記のこと

滿日文藝係

夕刊 滿洲日報 七月十四日

頻發する排日暴行に對し我官憲愈よ膝詰談判
文書交渉の効なきに鑑みて 清野領事乘り出す

【奉天特電十四日發】清野領事は十三日午後王鏡寰交涉署長と會見約一時間に亘り北陵鐵道問題、公太堡問題及び排日問題など最近の日支諸問題につき交涉する所があつたが聞けば從來の文書を以ての交涉ではこれを幾度繰り返へすもその効なきにより方針を變へ膝共談合的に解決を圖るはずであると

勞農側平等主義を主張 奉露協定の改訂を提議
各方面に大影響ありとして 露國の態度注目さる

【ハルビン特電十三日發】勞農各機關の閉鎖及び共產黨員の追放にひき續き東支管理局の回收によつて北滿における勞農の勢力は殆ど全滅に近いまでに驅逐されたが之に對して勞農側が如何なる態度に出るかは各方面に重大なる影響を及ぼすので頗る注目されてゐる、目下傳へられるところによれば勞農側では今回の事件を支那側と正式交涉の上平和的手段をもつて解決したい意志から元の東支鐵道副理事長で東支は素より北滿の各種事情に明るいセリブリヤコフ氏を全權として既に當地へ向け出發せしめたと支那側に通告して來たといはれてゐる、而してかくの如く露側が穩健な態度をとりセ氏を派遣し外交的に問題を解決するの外止むなきに至つたのは露國現下の國情が實力ある抗議を發し得ない事情にあるためであること勿論で例により所謂賢明なる忍從策をとつたものと見られ又セ氏が本國政府から今回の事件解決の方針として授けられた方策については東支鐵道問題に關する限りにおいては支那側が今回とつた處置を承認する代りとして飽くまで相互平等主義を主張しそのためには更に奉露協定の改訂を提議するに至るだらうと推測されてゐる

追放された赤露人
合計六十一名に及ぶ

【ハルビン特電十三日發】支那側の當地共產黨員に對するクーデタによつて國外放逐を命ぜられたものは十二日出發したエムシヤノフ、エイスモンドを合せて哈爾賓から三十五名沿線から二十六名合計六十一名でその氏名は次の通りである

ウイリドグルベ、ゼムスキー、シオクスン、ルーチエンコ、メニコフスキー、スポータ、ワホフスキー、ヤーギン、サドウオイ、オトロセンコ、グレンコフ、パンコフ、ボンスマレンコ、ラゴーデン、エムシヤノフ、エイスモンド、ゴルチヤコフスキー、マルコフ、チエチユーラ、ムルデン、ロマノフ、ゼリヨノフ、ボノスカルキン、ハリトノフ、ボノマレンコ、クニヤーゼフ、キリヨエフ、イワナセンコ、モナステレツキー、オシアーニン、バイガチエフ、プーシチン、ブラニチニコフ、メランウイリ、コイ、ボドレースルイ、モルチアノフ、ウオルコフ、モスチウイチ、ウナーエフ、エフレメノフ、ペズルーク、ボロートフ、パランチユーク、サハーロフ、ユリアーグ、ヤシンスキー、サテイガー、マンツエロ、クチユーンコ、ボイコフ、フエラポントフ、ピメーノフ、カラウリヌイ、ブチアツキー、スメゲリン、ボッドレスタイ、クドリアーセフ、アルヒポフ、フレンケリ、ポポフ

從業員組合も閉鎖さる

【哈爾賓】東支鐵道機關廠所屬の從業員組合は今回の事件に刺激されて秘密會議を開き組合としてとるべき態度につき協議を行つたことが支那側に探知され不穩行爲に出でたものとして支那官憲のため閉鎖を命ぜられた

在滿の邦人へ
(三) 大谷光瑞氏談

されば在滿邦人としては常にこれに對する警戒を怠らず、已が身邊危ふしと感知する場合は何時たりとも引揚げ、事前に已が生命、財產の保護をなし得る樣自衞手段を講じて置く必要あるは言を俟たない。

その用意、その覺悟さへあれば、假令政府の保護の手が及ばずとも、或程度までは、不時の災禍を免れ得るであらう。◇

何れにしても新內閣の聲明書なるものには、肝腎の滿蒙問題に就いて何等具體的の方針を示して居らず、それと目される問題に言及して居るのは、僅に「我國の生存又は繁榮に缺く可からざる正當且緊切なる權益を保持するは政府當然の職責に屬す」と聲明して居る點のみである。

而もこれは、其の字句として見るときは甚だ不完全なもので滿蒙問題に對する聲明としては餘りに曖昧至極なものと謂はざるを得ない。◇

一體「我國の生存又は繁榮に缺くべからざる正當且緊切なる權益」とは何を指すか。全文の意味を通讀して見るにそれが國防問題の見地より論じて居るとは思はれない。これは恐らく經濟問題を主として、其の一齣を加へて居るとしか思へないが、それにしては一たい現在の滿蒙が如何なる點において「我國の生存又は繁榮に缺くべからざる」ものであるか、その點が何らも判然しない。

將來鐵を多量に生產するとか、又は硫安を製造するとか、其他種々の科學的產物、或は日本內地において必須缺くべからざる農產物が豐富に輸送されるやうになればいざ知らず、今日の處で主なる必要品と云へば「豆粕」ぐらゐなものでこれがなければ日本の生存が危ふくなるとか、又は繁榮に差し障りがあるとか云ふ程度のものは、他に殆どないと云つてよい。◇

その點から云へば、棉花その他の必要品を供給する米國や、印度や、或は南洋その他などの方が却て日本の生存又は繁榮に缺くべからざる關係があるとも云へる。

然し權益云々の點は決してそれ等の地を指すのではなく、正しく滿蒙を指したものと思はれるが、國防上の問題、或は將來に關する問題からなればイザ知らず、あれだけの聲明では物足らぬこと夥しい。◇

殊に注意すべきはその直前に「進んでその國民的宿望の達成は友邦的協力を與ふる云々」と言つてある點で、これが解釋如何に依りては「旅大及び滿鐵の回收は支那の國民的宿望だ」と云ふので、各種の回收運動の盛なこの際、却て其の氣勢を扶ける事にならう。

試みにこれを權益保持云々の聲明と對比して見れば甚だ可笑しな話で、その矛盾も甚だしいと云はなければならない。◇

斯の如き聲明の矛盾はまだいゝとしても、この結果が勢ひ在滿邦人に、不測の禍を與へることになるとすれば、これは誠に我慢の出來ない話である。これ私が政府に對して、在滿二十餘萬の同胞擧つて質問を發し、以てその言質を得て置くべしと提議する所以であるが、その質問の方法は、單に在滿邦人全部の叫びを報らせるため、殊更商工會議所などの團體に依らず、邦人全部が個々に署名捺印して政府に提出するがよい。◇

またその形式は成るべく詰問的でなく、寧ろ請願の方法を執るのがよい。

これに對して政府から、必ず何等かの指令がある樣にする事は必要で、政府でも在滿邦人全部の請願である以上、必ずこれを放任することはあるまい。

知らず、在滿邦人多數の諸君は、此の際擧つて政府の眞意を確め、豫め不測の禍に備ふるの意思はないか何うか。

私はこれを警告し且つ在滿同胞諸君の自省を促して已まぬ。(終り)

白系露人狂喜す
東鐵管理局に押掛けて 多數復職を請願

【ハルビン十三日發】當地共產黨に對する支那側今回の手入れに對し白系露國人は大に氣勢をあげ黨員の放逐出發に際しては多數の白系露人が態々驛頭に集り罵詈や冷笑を浴びせかけるといふ騷ぎ方であつたが、更に管理局が白系露人を雇傭するといふのでますく得意となつてゐる、又さきに一月以降エムシヤノフ前管理局長に馘首された連中も事件以來管理局に押かけ復職を請願してゐるが多分その一部は採用される模樣で今や當地白系露人は復活の喜びに欣喜雀躍の有樣である

交涉準備のため
支那側代表哈市へ潛行

【奉天特電十四日發】東支鐵道問題に關し近くセレブリヤコフ、王正廷の露支代表會議が哈爾賓又は東京において開催さるべく豫想されてゐるが南京政府外交部の周龍光、朱紹陽二課長の一行は早くも十三日夜奉天經由哈爾賓に向つた、右はセ氏の着哈は早くて來る十七日頃であるから豫て北平において蔣介石、張學良、王正廷の三氏協議の方針に基き萬全の策を講ずべく潛行せるものと見做さる

一般經濟界には影響はなかつた
一部支那人は大打擊

【ハルビン特電十四日發】當地一般經濟界は今回の事件により初めダリバンクの支那側回收並にそれに關連して同行の取付說が傳へられたので多少憂慮されてゐたが程なく眞相が判明したので何等の影響も蒙るに至らなかつた、たゞ事件勃發の初め一兩日は前途氣構へから輸出入とも商談を差し控えた向があつた程度で、匯價の好轉による哈大洋票の下落で支那商人のうちには倒產者を出した模樣で輸入品特に綿糸布の取引が澁滯を來した

勞農機關
復活を運動

【ハルビン特電十三日發】國營汽船極東貿易及び石油シンヂケートなどの當地における勞農各機關が閉鎖されたゝめ露國の北滿における商業政策に一大頓挫を來したので目下勞農側では何んとか形式を變へてもこれ等機關の復活を計り營業を繼續せんと目下極力運動中であると

三線連絡で多年の宿望達成
奉天で開催中の會議に就て 吉海鐵路局要人語る

【吉林特電十三日發】目下奉天に於て開催中の吉海、瀋海、北寧三線聯絡會議に關し吉海鐵路工程局要人某は概要次の如く語つた

奉天と吉林の交通は殆ど滿鐵の操縱する所で吉長、四洮線も亦日本との借款關係から事毎に掣肘を受けねばならぬ 故に東北當局は交通は國家命脈たるの見地から決して忽視する能はざることを體得した結果として今後に於ける東北各省鐵道敷設は全然自辦自築の方針であるが現に黑江省の運輸は完全に滿鐵線を避けて齊昂、昂洮、打通各線を經由して北寧線に達する吉林省も亦最早吉長、南滿線を待まずして吉海、瀋海を經て北寧線に輸出することが出來る樣になり漸く多年の宿望が達成せられた譯であるが、之に反して滿鐵乃至大連港は莫大の影響を被ることは蓋し自然の勢ひである、奉吉線路の初めに當り日本側は毅然反對の態度に出でたが我方も直に自辦自地即ち自から修築の理由を以て最後迄之に拮抗し遂に勝利を獲得し鐵路は既に竣成し既に各線の聯運を實行する迄に到達した瀋海鐵道は既に北寧線と聯運を實行してゐるが今吉海線も既に竣成し全線の通車營業を開始して二個月に達し目下一切の設備も漸次其緒に就き唯瀋海線との連絡を殘すのみであるが奉吉を一氣に聯運することは奉吉兩省當局は勿論鐵路の

本旨で

あることは言ふ迄もない、而して北寧線は我東北四省物產輸出の樞紐にして又東接の關係を有し吉海線と瀋海北寧三線聯運擧辦は必要缺く可らざる處であつて茲に該三線當局は豫め打合せの上で本月初旬正式に三線聯運會議を奉天瀋海鐵路局內に於て開催すること〻なつたのであるが、其協定事項の主要なるものは(一)貨物の運賃(二)通車時間(三)聯運手續き等にして務めて廉速を期し以て根本的に滿鐵線を抵制する

計畫の

下に進行しつ〻あるのである、而して吉海鐵路局より此の聯運會議に列席した者は車務處長張鳴盛、運輸課長牟松山、營業課長王家巽で其の一切の聯運事宜は先づ各代表會議に於て議決の上更に夫々本局に報告し核准を經て實施せらる〻のである、北寧線は東北に於ける最も重要地位を占め目下東北各省に於て計畫中の各鐵道網が順次實現の曉きは葫蘆島の商港開闢が最も急務である

陸軍の異動
今月末ごろ發表

【東京十四日發電】今月末又は來月始め發表さるべき陸軍定期異動は大體內定を見たが其の主なるものは左の如く見られてゐる

進級

歩兵第十二聯隊長 歩兵大佐 長谷川國太郎
歩兵第七十五聯隊長 同 久我正二郎
教育總監部第一課長 同 西尾壽造
第四師團參謀長 同 澁谷伊之彥
歩兵第四十五聯隊長 同 末松俊造
歩兵第二十九聯隊長 同 上野西郎
陸軍省恩賞課長 同 中村濟作
歩兵第十一聯隊長 同 山本芳輔
第十師團參謀長 騎兵大佐 武藤一彥
教育總監部第二課長 歩兵大佐 角田政之助
旭川聯隊區司令官 同 山田政一
陸軍大學教官 同 鈴木美通
歩兵第六十八聯隊長 同 石坂弘毅
陸軍省補任課長 同 沖直道
歩兵第二十八聯隊長 同 前川米太郎
參謀本部附 同 佐藤三郎
第十九師團參謀長 同 大家德一郎
歩兵第十六聯隊長 同 中屋良雄
參謀本部課長 同 兒玉友雄
歩兵第十九聯隊長 同 瀧川良治
第八師團參謀長 同 篠原四郎
豐橋教導學校長 同 武田秀一
歩兵第四聯隊長 同 高城莊吉
第六師團參謀長 同 黑田周一
臺灣歩兵第二聯隊長 同 二宮久二
陸地測量部三角科長 工兵大佐 市柳和夫
航空本部第一課長 航空兵大佐 堀丈夫
野戰砲兵第四聯隊長 砲兵大佐 小野茂行
東京工廠長 同 小柳津正藏
兵器本廠附 同 松村乙二
築城部對馬支部長 工兵大佐 渡邊辰
陸軍技術本部々員 同 加藤鑛二
陸軍省軍砲課長 砲兵大佐 植村東彥
工兵第三大隊長 工兵大佐 中村良雄
工兵學校教育部長 同 上村友兄
工兵第二十大隊長 同 川野傳一
鐵道第一聯隊長 同 梅戶緯
輜重兵第一大隊長 輜重兵大佐 朝倉章
輜重兵第十六大隊長 同 牛出國五郎
歩兵第三十四聯隊長 歩兵大佐 竹下範國
歩兵第四十八聯隊長 同 古賀徹治
歩兵第四十七聯隊長 同 新山顯治
歩兵第七十七聯隊長 同 野田三藏
朝鮮軍司令部附 同 西四辻公堯
歩兵第二十五聯隊長 同 柳井貫一

任陸軍少將(各通)
第十二師團軍醫部長 一等軍醫正 田島淸十郎
陸軍省醫事課長 同
廣島衛戍病院長 同 弘岡道衛
同 國友[illegible]

任陸軍々醫監(各通)
近衞歩兵第二旅團長 陸軍少將 篠田次助
所澤飛行學校長 同 古谷淸
陸地測量部長 同 大村齊
砲工學校工兵科長 同 松井順
朝鮮軍參謀長 同 寺內壽一
憲兵司令官 同 峰幸松
兵器本廠附 同 井染祿朗
獨立守備隊司令官 同 水町竹三
陸軍大學校監事 同 多門二郎
野戰重砲兵第四旅團長 同 石川潔平
騎兵第四旅團長 同 服部眞彥
騎兵監 同 森壽
獨逸大使館附武官 同 大村有隣
近衞師團司令部附 同 淺田良逸
士官學校監事 同 厚東篤太郎

任陸軍中將(各通)
臺灣軍司令官 陸軍中將 菱刈隆
東京警備司令官 同 岸本鹿太郎
第三師團長 同

任陸軍大將(各通)
同 安滿欽一

滿洲事件は發表せぬ
政府の意嚮

【東京十四日發電】政府は滿洲事件の內容を發表しない意嚮である右は民政黨が在野時代前內閣を攻擊した關係上警備上の手落位でアツサリ片付ける譯にも行かず、さりとて眞相の發表も國家の威信上出來ぬから外部より迫られた時は前內閣が責任を負ふて辭した後だから今更發表はせぬと辯明する筈である

修養團夏季講習

關東廳學務課、修養團滿洲聯合會主催の修養團夏季講習會は十五日から十九日まで毎日午前十時より一時間旅順工科大學內に於て開催されるが會員は現在百廿名に達してゐる講師は修養團本部理事竹內浦次、赤坂繁太郎氏

あめりか丸無電 十五日午前七時港外着の豫定、乘客は五百四十三名

人事

▲高橋琢也氏(貴族院議員) 十四日卅帆香港丸にて內地へ
▲杉村勇吉氏(工大教授) 同上
▲大津錢雄氏(通信局無線課長) 同上
▲千田萬三氏(本社記者) 十三日夜渡滿農場視察の爲め沿線へ出張

天氣豫報

十五日 曇一時晴れ南の風
日出四時三九分 日沒七時一九分
滿潮前四時四〇分 後四時四五分
干潮前一一時五分 後一一時一〇分

各地の溫度

	十一時	最高
大連	二三、九	二九、五
旅順	二三、二	二八、〇
營口	二七、七	三一、三
奉天	二七、九	三三、八
長春	二三、六	三一、二

權益保持のため警官五百名を増員

支那側の暴力行爲に鑑みて 五年度豫算に計上

鮮人の權益保持、鮮人の保護に對しては支那側の現狀からすれば今後如何なる手段を以て侵害されるに至るやも計られず、現に逐年各地に散在せる朝鮮人が支那側官憲から迫害を蒙り故なくして放逐されるとは屢あり其都度殆ど泣き寢入りの姿で終るのが例であるが、其他我國の滿洲に於ける特殊地域の權益は稍ともすると蹂躪され近きは楡原農場の如き或は不當課税の誅求の如き暴力行爲を以て侵害され其の數枚擧に遑がない程で、この儘推移すれば到底我國の滿洲に於ける權益は保持されない情勢であるため關東廳警務局にては特に昭和五年度豫算に警察官吏の増員を行ふことに決定し約五百名の増員をする計畫の模樣である

地方民保護に警備力充實

軍隊出動までは警察力 西山警務課長談

右につき西山警務課長は語る

北滿方面の風雲と云ひ最近の支那側の態度は總ゆる方面に於て排他的運動が著しく濃厚となり鐵道警備には軍隊はあるが、地方民の保護と權益を保持する爲には警察署員の努力に俟たねばならぬが、人員は現狀に於て非常に不備であるから來年度は是非相當の増員をする考へである

最近滿鐵沿線及各地を調査した結果鮮人の如きも支那側の壓迫を受けてゐるから保護するの必要あり、且つ權益、權益と稱するもこれを完全に擁護するには軍隊の出動を待つ前に於ては警察官吏の手に頼らねばならぬことを痛切に感じたので各地警察署からの要求もあり警備力の充實に重きを置く方針である

なしたが、選出された中川支部長は今夜旅順を發し、大連で本部派遣員と落合ひ直に奉天に赴く由である

因に旅順支部では中川支部長の歸連を待つて演説會を開催し、奉天に於ける支那の暴狀、其他時事問題等に就いて演説する筈である

碧流河沖で漁船と漁夫抑留

貔子窩署で引渡要求

罰金を命じ莊河縣に連行

大連市外老虎灘會轄山市漁業松尾陣作は支那人漁夫四名を連れ去る一日老虎灘を出帆貔子窩管内碧流河沖合石城島近海に於て鰆延繩漁業中、去る三日午後一時ころ突如支那官憲が松尾等の漁船に迫り支那領海なるを以て漁業禁止を命じ罰金十圓を要求したので松尾は所持金なき旨を答へるや、支那官憲は漁船二隻と松尾及び漁夫二名を拘引し漁夫二名に漁獲物を大連に輸送し支那官憲の要求せる金員調達方を嚴命した

漁夫二名は十五馬力の動汽船にて老虎灘に歸港金員を調達のうへ、五日現場に急航したところ松尾及び漁夫二名は既に支那官憲に抑留され、莊河縣に連行された後であつたので、空しく十三日午後三時大連に歸港この旨水產會大連支部に屆出した

同支部では直に大連署へ救助方を願出たので大連署から貔子窩警察署に急報し、目下支那官憲に引渡方を交渉中である

楡原事件調査

青聯旅順支部

楡原農場事件に憤慨した青年聯盟旅順支部では十三日午後三時から學藥倶樂部に於て緊急委員會を開催し、本部派遣員と同一行動の下に之が調査に赴く委員の選定を

△△△ 雨もよひ ▽▽▽ 老虎灘の水田

支那官憲の暴戾に大石橋市民蹶起す

滑石山鑛區の回收を叫んで 市民大會で決議文

去る十日午前十一時海城縣署子峪なる伊藤謙次郎氏經營の滑石礦區を突如無法にも同地支那官民が武力を以て

採掘 即時中止の暴擧に出で遂に採掘不能に陷らしめた事件は屢報の如く奉天楡原農場問題と共に滿洲に於ける邦人權益に對する支那官憲の排日的露骨なる暴戾の現れとして一般に注意されてゐたが、大石橋市民協會では該事件を單に一個人の損害とし傍觀すべきに非ず個人の利權は即ち國家の利權で且つ其の產出する礦石は全部日本の貿易乃至生產工業に必要缺くべからざるものに屬するとの見地に

立脚 し去る十二日午後八時大石橋公會堂に市民大會を開催し、伊藤氏十年苦心の結晶と約十萬圓の投資額に對し支那官民橫暴の爲め之を回收するの餘地なきに至らしめられた伊藤氏に同情聲援し國家の威を藉りて支那官民の不法排日行爲に對抗し之を完全に回收して事業を繼續せしむべしと衆議一決左の如き決議文を作成し各方面へ配付聲援を仰ぐ事として散會した

決議文

去る十日午前十一時當地伊藤洋行が十年間の久しきに亙り苦心經營せる滑石山に對し支那官憲は二十名の武裝巡警並に「モーゼル銃」を携帶せる便衣隊八名を加へたる一隊を以て採掘に從事せる工夫を威喝し之を追拂ひ工夫頭一名を捕縛し且作業監督の邦人に對し罵詈暴行を敢てし直ちに退去を命じ作業は全く中止の止むなきに至らしめたり曩に楡原農場に於ける暴虐事件あり、今亦此の無法極まる暴戾を敢てす、近時支那官民の排日的行爲並に利權不法回收の暴擧は南北滿洲を通じて愈々旺盛猛烈を極むるに至れり

若し此の形勢を推移するに委せんか在滿同胞は遂に退却の外なかるべし冀くば既得權益擁護の見地に基き速に適切有效なる手段を敢行し安んじて其業務に從事し得る樣最善の努力を致されんことを要望す

右決議す

昭和四年七月十二日 大石橋市民大會

怨めしい五十萬圓

口車に乘せて褚氏の身代金を― 「まんまと猫ばゝ」

「金さへよこしたら褚玉璞の身體は下げ渡す」と云ふ甘い口車にウマ／＼乘つて去る十一日折角歸つて來たのに又々高松丸を借り切つて芝罘に赴いた褚玉璞部下楊耀宗氏王交渉員等は何んと云ふ事か？金五十萬圓を綺麗にまきあげられた揚句「氣に入らなけりや歸つて行け」と突き放され何處に文句のつけ樣もなく十四日朝又々スゴ／＼高松丸で引返して來た。

◇

聞く所によると楊副官の一行は十一日の午後十二時頃芝罘に到着、十二日の朝九時頃褚玉璞氏が監禁してあると稱するアストラハウスに王交渉員外二名を派し種々交渉を重ねたが、當時劉珍年氏は既に北平にあつて蔣介石と面談中で留守司令劉子健氏が專らこの衝にあたり「金さへ渡したら褚玉璞氏の身體は何とかする」と言明したので、早速滙々銀行渡しの五十萬圓の小切手を交附すると、彼等は直に談を何とか返答する」と以前の態度はガラリ一變したので慌て切つた受取人達は種々交渉するところあつたが結局何時まで經つてもラチがあかずやむなく劉珍年側に誠意がないものと見切りをつけ歸還したものであると

◇

尚褚玉璞氏が面會に行つた交渉員に對して言明したところによると「劉も武將であらうから金丈は渡してくれ、もしそれで獻目だつたら俺はもう死を覺悟する」云々し五十萬圓をマンマとせしめた劉珍年は近來の大詐欺師であると評判されてゐる。

△△△ フランスの刑事警部が有馬溫泉で盜難に遭ふ △△△

【神戸特電十三日發】 フランスの刑事警部が身ぐるみ盜まれた話……日本の探偵狀態を視察のため來朝、八日來兵庫縣有馬溫泉有馬ホテルに滯在してゐる巴里警視廳刑事警部チヤーレス・ベーデイ氏(四三)の部屋へ十三日午前一時半から四時半までの間に賊忍び入り同氏の洋服から靴、其他現金までスツカリ盜んで逃げたことを夜が明けてから發見したがさすがにその筋の人でも他國ではどうにも仕方なく縣外事課へ屆出た

明日は霽れる

けさ坪一斗六升の雨

十二、十三日と恐ろしく蒸暑い天氣が續いたが、十四日は午前五時四十五分から到頭雨となり同十時十五分迄に八、六ミリ「坪當り一斗六升」の雨量で折角の日曜に各海濱への人々の出足はにぶらしたものゝ旱魃に苦む農家に取つては甘露の慈雨で水田は勿論凡ての農作物を蘇生らした、觀測所の語る處に依ると

滿洲梅雨時の氣壓の配置で十四日中は曇り勝ち、時々小雨を降らすが漸次持ち直し十五日は多分霽れる見込みだとある

疾病兵の送還

六月分滿洲及び北支那陸軍部隊內地還送患者は三十三名にて一行は一昨日來大連陸軍病院防分隊に收容中であつたが十四日出帆香港丸で太田一等軍醫に護送されて廣島に向け出帆した

主なる疾病は肋膜炎十六名、肺尖カタル八名、肺結核三名であると

專門學校檢定試驗合格者

本年六月關東廳學務課で施行した第七回專門學校檢定試驗に合格證及び學科目各種證明書を更付されたものは左の諸氏である

合格證飯田紀之(長野)手島中之助(廣島)西山玉司(神奈川)▲修身國語高橋榦夫(岡山)▲修身富田儀助(山口)▲國語、修身古澤孝一(岩手)▲修身陳文、歷史、物理化學安達醇(大分)濱添幸太郎(京都)中川了信(滋賀)大塚高(佐賀)麻野井祐友(長野)座間味浦護(大分)有間勇(島根)東時彥(沖縄)米丸辰男(鹿兒島)今村二(鹿兒島)名取富雄(大阪)吉重松(鹿兒島)森綱(同上)麥川英夫(山形)太田賢吉(大阪)大淵寅松(新潟)森崎武夫(長崎)若林孝(長野)

異鄕に病む父の許へ獨り旅

形見の人形を抱きロシアへ 片山千代子さん出發

【敦賀特電十四日發】十三日午後六時敦賀を解纜した敦浦聯絡船天草丸の甲板上で絽の浴衣に夏帶束髮姿のうら若い日本婦人が黑いセルロイドの人形を抱いて棧橋に只一人見送る母に淚の別れを告げて人目をさけつゝ淋しく旅立つた、これはモスコーに病む父戀しく十六年の昔父から贈られた形見の人形を抱いて遙々モスコーに向ふ片山潜氏の女千代子さん(三)である、愛人旅を經して東京から見送つた母の原きよ子さんと共に切な追憶を呼び起しつゝ千代子さんは出帆前に

父はもう七十五歲になりました日本を去りましたのは十六年の昔、妾が六つの時で父の顏はうすら覺えです、その頃から父は非常に病弱でした、入露の上は二ケ月程專ら父の看病をして來たいと思ひます、姉のやす子についでは伊太利以來何の消息もなく、全く不明です

と淋しく語つた

黑石礁の天幕生活

可愛い長春の健兒團員

黑石礁滿鐵海水浴場附近に十三日突如三つのキャンプが張られて可愛い少年團服を着た二十餘名の少年達がキビ／＼した訓練振りを見せて炊事から寢具の仕末など甲斐々々しく立働いて、折柄出盛りの海水浴客の注目を惹いてゐる

この可愛いキャンプ隊は長春健兒團本部が夏季休暇を利用して班長實修の爲め天幕生活を實施演習するので長春商業、長春及鐵嶺小學校生徒合計二十一名で少年團日本聯盟長春健兒團隊長竹下國雄氏に引率され午前五時半起床、午後八時五十分就寢に至るまで毎日規律正しい標準日課を訓練しつゝある

大連に四日、旅順四日、夏家河子二日、熊岳城一日のキャンプ生活を實修して二十五日に長春へ歸る筈だといふ

白國皇帝が海水浴中御盜難

【オステンド十三日發電】白耳義皇帝アルバート陛下が本日當地に海水浴中陛下の御着衣場に賊忍び込み陛下の金時計、金飾り付ナイフ、紙幣五百フラン在中の札入れ書類を竊取した

投げた瓶から痘瘡患者發見

十三日午後三時十五分ごろ日本橋警官派出所詰黑田巡査は常盤町五十一番地鄕共通かた前を警邏中、同家二階の窓より牛乳瓶を投下したので偶ゝ下の道路に遊んでゐた子供に命中し怪我した爲め同家に至り調査した處、隣室にゐた菓子製造業職人郡寰亭長男郡小才(二)が痘瘡に罹り臥床してゐるのを發見直に療病院に收容すると共に家屋の消毒を行つた

哀れな鍛冶屋一家へ同情金

十三日本紙夕刊所報「妻は狂ひ長男死し途方に暮れる鍛冶屋一家」の沙河口元町七六安藤孫八(四)が不埒な屋ひ人には持ち逃され長男は死亡し重なる不幸に發狂せる妻と十一歲を頭に當歲い嬰兒まで都合五人の幼兒を抱へ、貧困の中に汗みどろ血みどろの生活苦と戰ひながら當惑してゐる不幸な運命に同情し、市内松山寮社會研究會主幹山田武吉氏は深く同情し十三日午前金三圓を安藤へ贈り度しと本社へ取次ぎ方申出でた、なほ沙河口署を通じ沙河口大正通一八野口正男氏より金五圓聖德會より金二圓及び白米一斗二升の寄贈があつたと

雨天で小銃射擊會中止さる

本社後援第三十一回小銃射擊會は十四日擧行の筈のところ雨天の爲來る廿一日の日曜に延期となつた

大連神社月次祭

十五日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町東伏見臺區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭典を執行する

◇……中山前石川縣知事、間野前內務、歌川前警察兩部長の送別宴は十二日金澤市公會堂で行はれたが料理の腐敗から出席者中下痢患者續發し間野、歌川兩氏の如きも罹病して十三日出發の豫定を變更するに至つた【金澤十三日發電】

◇……十三日福島地方は氣溫急騰し午後二時半九十七度にて大正七年來の酷暑を示し小川の魚は浮き上り屋內は百度の苦熱を呈した【福島十三日發電】

コドモページ

對話 孟蘭盆の話

はるみち

一郎。お父さん秀ちゃんのおうちに岐阜提灯がたくさん吊るしてありましたよ。

父。お盆だからだ、新佛のある家ではお盆に灯をともして佛を祭るのだ。

一郎。お盆つてどんなことですか

父。盆といふのはつまり孟蘭盆のことで精靈祭とも言つてゐる。これは七月の十三日から十五日に至る三日間祖先の靈を祭る佛式なのだ。

一郎。どうして精靈祭のことを孟蘭盆といふのですか。

父。孟蘭盆といふのは梵語から出た言葉で墮落者を救ふといふ意味があるのださうだ。

一郎。お盆はいつ頃から始まつたのですか。

父。もと〱これは印度から支那に傳はり續いて日本に傳はつたものだが、支那では唐の宗帝の時代から始まり、日本では齋明天皇の三年七月に初めて法興寺で孟蘭盆會が催されたと記錄に出てゐる。しかし之が一般民間に行はれるやうになつたのは聖武天皇の天平五年からださうだ

一郎。孟蘭盆にはどんなことをするのですか。

父。今日行はれてゐる孟蘭盆會は地方によつて違ふ、滿洲のやうな植民地だとか內地でも大きな都會などではあまりやつてゐる家はないやうだが、內地の田舍へ行くと今でも盛にやつてゐる。それも宗派によつて違ふが、普通は佛壇にいろ〱のお供物をしたり燈火をつけたりする、そして十六日の朝になると供物はみんな菰に包んで川に流したり地中に埋たりする。それから十三日の日には迎ひ火と言つて門口で麥藁を焚き十六日の朝或は十六日の夜などに送火と言つて火を焚いたりするところもある

一郎。どうして火を焚いたりするのですか。

父。つまり迎ひ火とか送火とかいふのは佛樣を迎へて送る意味なのだ。

おはなし 牽牛織女と二つの釣瓶

長春 山田健二

庭の隅に古い井戸があつて二つの釣瓶がかけてあります。二つの釣瓶は雄つるべと雌釣瓶で生れる時から一處で本當に仲好しでした。けれども未だ一度もお互ひに手を取合つてゆつくりお話しすることが出來ませんでした。雄釣瓶が水を一パイ持つて上に登る時には雌つるべは暗い井戸の中に下りて行かねばなりません雌釣瓶が登る時は雄釣瓶は反對に下りなければならないのでした。そして其の途中で一寸すれ違ふだけで、とてもお話しなどする暇はないのです。二人はすれ違ふたびに心から名殘りおしさうに見送り見送られながら自分たちほど不幸なものはあるまいと悲しみました。

こちらはお空です。砂金で埋めた樣な天の川の兩岸には一年一度の會ふ瀨を樂しみに牽牛、織女の二つの星はお互ひに招きあつてゐました。そしてこらへ切れない織女は、ぬれるのもかまはず天の川を渡り出しました。二つの釣瓶は上と下でうらやましさうにそれを眺めてゐます。織女は銀の波を押し分けながら段々向ふ岸に近付いて行きます牽牛は兩手を差しのべて待つてゐます。變り易い夏の空は何時の間にか墨汁の樣な黑雲が現れたと思ふ暇もなく……ポツリツと落て來ました。丁度織女が川の中程に着いた頃雨のために天の川は見る〱內に溢れて來て矢の樣な勢ひで流れだしました。「あツ!危ない!」……向ふ岸で見てゐた牽牛は思はず叫びましたがどうすることも出來ません。織女は助けを求める勇氣もなくヨロ〱流れに押れながらやつともとの岸にたどり着きばつたり倒れてしまひました。二つの星の間には、どうしても渡ることの出來ない、流れが勝利のマーチをかなでる樣にゴー〱と流れてゐます。二つの星は又來年の今夜まで會へないのです。この有樣を遙か下界から眺めてゐた二つの釣瓶の眼にはいつか同情の淚が光つてゐました。

そして同じ樣につぶやきました「あゝ私達はなんて幸ひなんだろう、一番幸福だと羨んで居た牽牛、織女さんより私達の方がどれ程幸ひだかわからない、あの人たちは一年に一度きり……それさへ今年は會へなかつたのだ。私たちは毎日何度でも働けば働くだけ餘計に會ふとが出來る。ほんとうに私達はしあはせだ」二つのつるべは自分達の身の幸福を喜びました(をはり)

青年會少年部 キャンプ開始

敷島町基督教青年會少年部石槽屯キャンプは、各學校及少年團等の海濱聚落やキャンプの終了後中等學生の爲めに七月二十六日より二週間、小學生の爲め八月六日から二週間宛開始することになつた、詳細は同會に問合せられたしと

水泳場めぐり —(2)—

山の影を映した 老虎灘の入江 十七八年來の 常盤校の水泳場

×

老虎灘線の汐見橋終點で電車を降り山を一つ越すとそこには老虎灘屯の入江が深く灣入してゐる。此の入江の一番奥に行詰た斷崖の下が常盤小學校の水泳場である。

×

常盤校が水泳場をこゝに決めたのは今から十七八年程前のとで其の當時舊校舍の一部であつた木造の手工教室をこゝに移して脫衣場にしてから幾星霜、屋根は朽ち板ははがれて、今は見る影もない茅屋になつてゐるがどうにかかうにか修繕をして毎年使用してゐる。しかし年々兒童數が殖えてゆくので全部を收容し切れず、脫衣場は女子だけが使用し、男子はカン〱日の照る砂の上にアンペラを敷いて脫衣場としてゐる。廣々とした脫衣場を持つてゐる春日小學校に比べて實に雲泥の相違だ。何とかしなければと學校でも氣をもんで居るが中々思ふやうに增築も出來ないらしい。

×

此バラツクは平素は附近に住んでゐる支那人漁民が勝手に寢臺の場所にしたり夜の集會所にしたり、時には便所代りに使はれたりするので荒され放題である。

×

こゝの海は潮が引くと足場が惡くなるが潮の滿ちてゐる時は水泳には極めて都合がいゝ、五級以上は舟に乗つて沖へ出て泳ぐ、飛込臺はないが沖に碇泊してゐる大きな漁船の甲板が利用されて立派に飛込み臺の代りをする。この海の缺點は支那人部落を控てゐるだけに海が幾分汚いのと靜浦と同じやうに水が冷たいことだ。

×

記者が行つた時は泳げない連中が竹田先生のメガホンの號令に從つて波打ち際でパチヤ〱やつてゐるところ「手をつけツ、膝をつけツ、頭を下につけツ、足を動かせツ」

そこへ大きな波がドブリと來て金槌連はキヤツキヤツと奇聲を放つ、中々賑やかなことだ。

×

此樣子を此の間歐米視察から歸つたばかりの外池校長が脫衣場の中からフロツク姿でいかめしく眺めてゐる。水泳場にフロツクはおかしいと思つて訊いて見ると「實は歸朝の挨拶廻りをしてそのまゝこゝにやつて來たのだ」とある。

×

それから水泳のとはそつちのけで外池校長の歐米視察談が頗るはづむ、記者もついつり込まれて水泳場を見に來ながら水泳のことをすつかり忘れてしまつた。

×

その中に「カラン、カラン」とベルが鳴る。水泳終りの合圖だ。先生も生徒もあわてゝ海から上つて來る。

×

かくて水泳が終ると一同はまたテク〱と山を越え、三殿の電車に分乘して學校に歸るのである。(寫眞は賑はつてゐる常盤校の水泳場)

二ドメノ 大チャンノタンケン (72)

ハルミチ作 ジラウ畫

ロビンソンノヤウナ オヂサンハ 大チャンノ ソバニ チカヅイテ キマシタ ミギノテニハ テツパウヲ モツテキマス 大チャンハ ソノオヂサンヲ フシギサウニ ミアゲマシタ。

「ボツチヤン ホントニ アブナイコトデシタネ。ワタシガ コナケレバ ボツチヤンハ ドジンドモニ クワレテシマフトコロデシタヨ」ト ロビンソンノ ヤウナ オヂサンガイヒマシタ

「エツ、デハ オヂサンガ ボクヲ タスケテクレタノデスカ ソシテ オヂサンハ ニツポンジンデスネ」大チャンハ ナツカシサウニ ソノ オヂサンノ カホヲ ミマシタ。

童謡 スワン船

沼田冬子

廣いたゝみの
あをいうみ
白いペンキの
スワンぶね
おきやくは
びつこのメリイさん
向ふの岸まで
まいります
向ひの岸は
タンス町
タンスの角で
とまります
とまりや下りる
お客さま
ぼう〱ぼうと
スワンぶね
たゝみのうみに
うかんでる。

オトウサンノオカヘリ

大廣場小學校一年 村田知子

ミンナデ マツテタ
トウサマガ
ココノカノヒニ
オカヘリヨ
トモコノ ミヤゲノ
オニンギヨハ
イマゴロ キツト
トランクノ
ナカデ オネンネ
シテルデセウ
ハヤク 九ニチニ
ナレバヨイ

新刊教育書紹介

▲教育論叢(七月號) 國民指導原理としての國史、讀書の心理、思想問題再考、自然研究に基く衞生敎授、兒童に時間觀念を養成せしめる方法、教育映畫當面の諸問題等(五十錢東京市牛込區赤城元町文敎書院)

▲學校級經營の實際(七月號) 通信機關としての學校新聞、獨逸に於ける實驗學校、兒童游園と學校給食に就て、學校の家庭化と家庭の學校化、其の他主張と研究、紀行と創作等(五十錢東京市神田區表猿樂町南光社)

平安異香（49）

葉多默太郎作　中一彌畫

花見雪とでもいふのか、綻びかけた彼岸櫻にしん〳〵と雪が降る――。

處女受難（一八）

こゝは東山の勸修寺の邸内、邦貞の居室。

唐風の椅子に腰かけて、網代鏡の卓を挾んで對してゐるのは邦貞と春光だつた。

卓におかれた銀の鳥籠には、人語を解すといふ色彩の美麗な珍鳥が、二人の話に聞き入る如く、頻りに丸い瞳を傾けてゐる。

「して、春光、それは何時の出來ごとだつた？その娘のかどわかされたのは？」

弱々しい邦貞の面に、今日は一入憂ひの色が濃かつた。

「昨日の薄暮のことだと聞いた」

春光の眼には、一刻もじつとしてゐられないやうないらいらしさが見えてゐる。

「それでは、昨夜からその娘はこの邸にゐる筈ですね」

「さうです。貴公は何か氣が付かなかつたでせうか」

「私は何時もこの居間に閉ぢ籠つたきりだから……」

「ゐるとすると、何處にゐるだらう」

「私の知らない部屋もいろ〳〵あるので分らない」

「ぢや、どうすればいゝのだ、邦貞。それを教へてくれ、それを。何か方法を考へてくれ。自分でこの邸中を隈なく驅け廻つて探したいやうな衝動を感ずるのだが……」

「それは絶對に駄目です。恐しいことだが、私には、かういふ場合に父が貴公をどんな扱ひ方をするかよく分る。父には非常な殘酷なところがあるのです。慘忍性とでもいつたやうなものが……」

「あ、さうだ、邦貞、夫人に助言を頼むといゝ。な、さうだ。いゝ考へだらう」

いふと邦貞が緩をうつかと思つたが、邦貞の面は一層暗くなつたやうだ。

「どうしてだ？いけないのか？」

「駄目です。繼母は一層よくない――繼母は父の不品行を笑つて見てゐるたちの人です。惡魔のやうな冷笑でもつて……」

邦貞の聲は沈痛だつた。繼母のことに觸れたくない樣子だつた。

「さうですか――」

春光は伏目になつて脣を嚙んだ。

深い絶望がひし〳〵と胸を締めつけて、息苦くなるのだつた。

こんなにしてゐる間にも、處女の身に刻々毒爪が迫つてゐるであらう。身體を八ツ裂きにするよりもむつと慘酷な毒爪！

「あゝ」

しかも、それが今この目に見えてゐるこの邸の何處かで行はれてゐるのだ。あの母屋か。あの對の屋か、母屋の向ふの屋根の見えてゐる離れかも知れぬ。それを今見てゐながら、どうする事も出來ない。見殺しにしてゐるやうなものだ――。

「あゝ、邦貞」

春光は思はず聲をたてた。絶望の悲鳴だ。

すると、それと同時に、長い沈默から顏を擧げて邦貞が云つた。

「春光、一つの途がある。今ふと思ひつきました」

「一つの途――？」

縋り付くやうに邦貞の手をとつた春光。

「それは何です。どうしろといふのです」

「父はあれで非常に體面を大事がる人です。殆ど體面を守るといふことが人生の目的と思つてゐるのではないかと思はれる位です。それで思ひついたのですが、君はこれからすぐ使廳へ行つて、蒔繪師の是信の代理として幸さんの誘拐されたことを訴へなさい」

「使廳の長官である貴公の父を訴へる――？」

「さうではない。つまり勸修寺の御家人の足海三左衛門が誘拐したものとして、三左衛門を訴へるのです。すると父はいやでも公向には三左衛門を叱つて娘を返せと云ひつけたといふことにして、幸さんを返す――どうだらうか」

「うまく行くか知ら。だが一つの機微を摑んだ方法ではあるらしい」

「他に手段がないやうに思ふのだが――」

「有難う、邦貞。私はすぐそれをやつてみませう」

春光はすぐ立上つた。

映畫と演藝

石井氏の引退　撮影所を渡す

松竹キネマと帝キネとの提携は其後、東京、九州兩支社の廢止となつて表れ、漸く合併の色を濃くしてゐるが、豫て必然的に色々と噂の的になつてゐた長瀬撮影所の移管問題に就て所主石井虎松氏は此程本社に移管方を申込んでゐるので、多分來月上旬に開かれる重役會で決定、此處に多年の問題も解決するものと思はれる、右に就て當の石井氏は

兎に角、暫く休養させて頂く事にしました、撮影所を本社に經營して貰ふ事はかねてから私の望んでゐた處で、たゞ若しそのために現在の所員が故なく脅迫されたり、また解雇されたりすれば私としては何等の處置に出なければならないが松竹さんが居られる事だし、萬々そんな事もないと信じて安心してお願ひする譯です

と語つてゐる

岡田時彦が日活を退社　レヴユウ出演

日活現代劇部のスター岡田時彦は今度日活を退社して松竹座チエーンのレヴユーに出演ずる事になつた、一週五百圓、七週間の契約である、そのあとは蒲田撮影所で一ケ年働き俳優をやめるといふ事で日活の諒解を得たらしくレヴユー出演の金で老父の生活の安定をさせるといふのが主たる目的だといふので日活もこれを容認したとの事である

映畫界東西

東亞の株式過半數が完全に入千代生命に歸し前專務白水氏は相談役になるものと見られてゐる

◇松竹蒲田に入つた高田稔は井上と共演して「アメリカ航路」に着したが更に田中絹代と共演

◇無聲映畫は今後十八ヶ月以内に影をひそめるだらうとジャックワーナーが氣焔をあげてゐる

紅蓮浄土

右太衛門映畫としては妙にこぢれたところがなく淡々とした平凡な味であるが、その方が嫌味がなくて良い 監督は下加茂の星哲六で渦紋流しと同じやうな手法である、志賀沙良夫の原作を監督が脚色した七巻ものであるが、テーマの影も薄いし人の扱ひ方が一向突込んだところがなく筋を運んだゞけである、カメラはムラがあるが大體に從來の右太衛門物としては良い方である、たゞ二重轉換の連續には惱まされる、右太衛門の新八郎は無難 五味國枝の藝者〆香は阪妻時代の悌がなくイツトが失はれて終つたこれは顏が肥えたのにも因るだらうが、メイキアツプが白すぎる、矢張り淺黒い肌を思はせるやうなアツプの方が生硬な感じが無くて良い、諸岡鐵齋は何とかならぬものか、全篇の姿は「野良犬」よりはずつと氣持よく見られる

浪速館の「からたちの花」は映畫人は見て欲しい作品だと秋村君が頑張つてゐる▲次週は小唄映畫「沙漠に陽は落ちて」を上映▲演藝館の物凄い宣言も良いが營業委員會は惡い洒落だと映畫街の評判▲今週は帝キネの花柳映畫「糸の亂れ」で嬉しい皆樣を吸集するのだとのこと▲勿論小笠原ライオン君の熱演である▲しかし月形の小品「やくざもの」にマキ智の「女定九郎」と一寸面白い番組ではある▲國産トーキーの公開――マキノ出張所で近く何か發表するらしいとの噂もある▲科學的映畫の確立も結構であるが、エレクトラによる伴奏式映畫もアーバンでは裝置不可能とあるから各館とも資格なしといふことになる

◇◇紅蓮浄土◇◇

右太衛門プロ作品、星哲六監督市川右太衛門主演の七卷もの【帝國館上映】